

研究業績

■ 河田 惠 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 5 自然災害の危機管理 Catastrophic	分担執筆 分担執筆	2017年6月15日 2017年12月	立花書房 Elsevier / Butterworth- Heinemann	現代危機管理論, pp.125-161 Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Yoshiaki Kawata, pp.1-28.
(学術論文) 濱口梧陵国際賞の創設——世界津波の日を 讀える—— 「濱口梧陵国際賞」の創設と今後の防災対策		2017年1月1日 2017年1月1日	ウオータアンドライ フ社 一般財団法人 港湾 空港総合技術センタ ー	Water&Life, No.610, pp.21 SCOPE NET, Vol.16, pp.8-12
濱口梧陵		2017年2月1日	SMBC 経営懇話会	SMBC マネジメント プラス, 447号, pp.6-7
熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策 検討 WG		2017年2月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.611, pp.22
国難災害を迎撃する「防災省」の創設		2017年2月23日	全国日本学士会	会誌 ACADEMIA, No.160, pp.47-59
「国難災害」と憲法改正		2017年3月1日	日本会議	日本の息吹, 352号, pp.10-17
避難準備情報の名称変更		2017年3月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.612, pp.22
東日本大震災の復興事業の頓挫		2017年3月1日	公益財団法人ひょう ご震災記念21世紀研 究機構	研究レター Hemi21 オピニオン, Vol.40, pp.1
特別寄稿 津波・高潮防災をはじめとする 沿岸防災に係る国際的な状況		2017年3月20日	日本港湾協会	港湾, 94号, pp.6
難渋する国土強靱化の普及		2017年4月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.613, pp.22
災害列島の防災・減災そして「縮災」		2017年4月1日	株式会社 インター リスク総研	RM FOCUS, 第61号, pp.1-7
災害の検証(ふりかえり)の大切さ		2017年4月1日	日本災害情報学会	日本災害情報学会 News Letter, No.69, pp.1
検証(ふりかえり)の重要性		2017年5月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.614, pp.22
巻頭言 新たなステージに入った災害とそ の対策——イノベティブな縮災を心がけ る——		2017年5月22日	株式会社 オフィ ス・スペース	土木施工, Vol.58, No.6, pp.7
熊本地震から1年～防災・減災の教訓と被災 地の復旧・復興		2017年5月20日	西日本政経懇話会	政経特報, 第1467号, pp.4-6
グローバルな視点で復興計画を提唱		2017年6月1日	国際商業出版株式会 社	国際商業, Vol.50, No.589, pp.19
知識が命を守る		2017年6月1日	茨木市	広報 いばらき, No.798, pp.3
熊本地震から1年		2017年6月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.615, pp.22
「河田防災塾」を開講		2017年7月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.616, pp.22
過去の震災に学び、これから整備すべき防 災体制		2017年7月1日	公益社団法人 関西 経済連合会	経済人, 837号, pp.16
How to Improve Social Infrastructure in Disaster-prone Areas - Disaster Resilience and Lessons Learned from the 2016 Kumamoto Earthquake-		2017年8月1日	The Japan Iron and Steel Federation	Steel Construction, No.51, pp.16-18
基本的な情報を知り、災害を自分の問題と して捉える～特集 ライフスタイルとしての 「防災」		2017年8月1日	一般財団法人 第一 生命財団	city & life, No.120, pp.2-4

2つのレジリエンスの取り組み		2017年8月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.617, pp.22
自然災害ワークショップ		2017年9月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.618, pp.22
人と防災未来センターのこれから		2017年9月1日	公益財団法人ひょう ご震災記念21世紀研 究機構	21世紀ひょうご, 特別号, pp.5-6
マンション管理組合の防災対策		2017年9月15日	公益財団法人 マン ション管理センター	マンション管理センター通信, No.381, pp.2-5
九州北部豪雨災害～減災ダムの提案～		2017年10月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.619, pp.22
南海トラフ地震を始めとした各種巨大地震 災害の基本対策		2017年10月15日	一般財団法人 火力 原子力技術協会	火力原子力発電, Vol.68, No.10, pp.556- 575
超大型ハリケーン・ハービーとイルマ災害 の教訓		2017年11月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.620, pp.22
今後想定される首都直下地震、南海トラフ巨 大地震などから災害大国・日本が生き残るた めに		2017年11月8日	中央労働災害防止協 会	全国産業安全衛生大会研究発表集, pp.422-423
日本の災害史と将来の巨大災害		2017年11月1日	メジカルビュー社	Heart View11月号, pp.59-63
鉄道橋の落橋事故を防ぐ		2017年12月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life, No.621, pp.22
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Lessons from the Kumamoto Earthquake of 2016 for Build Back Better	単独	2017年1月24日	国際復興支援プラッ トフォーム (IRP)	IRP'S International Recovery Forum 2017 (Hotel Okura Kobe, Hyogo)
Panel Discussion 1:Build Back Better for Resilient Community	単独	2017年1月24日	国際復興支援プラッ トフォーム (IRP)	IRP'S International Recovery Forum 2017 (Hotel Okura Kobe, Hyogo)
過去の震災に学び、これから整備すべき防 災体制	単独	2017年4月10日	関西経済連合会	関経連「評議員会」(大阪府大阪市リーガ ロイヤルホテル大阪)
The challenge of sustainable cities: Building inclusive urban infrastructure to withstand disaster risks	単独	2017年4月14日	OECD Development Center	1st International Economic Forum on Asia (Shinagawa Prince Hotel, Tokyo)
国難災害を迎撃する『防災省』創設の提言 (招待講演)	単独	2017年10月21日	日本災害情報学会	日本災害情報学会 第19回学会大会
災害対応におけるリーダーの役割	単独	2017年1月14日	京都府	京都府防災・危機管理セミナー (京都市 上京区京都ガーデンパレス)
震災から学ぶこれからの防災	単独	2017年1月16日	公明党青年会議	関西復興フォーラム2016 (兵庫県神戸市 中央区三宮研修センター)
震災教訓の継承と自己決定力向上～新たな ステージに入った災害への備え	単独	2017年1月21日	神戸市	災害対策セミナー in 神戸 (兵庫県神戸市 神戸国際会議場)
和歌山県で心配な災害とそれへの対処法	単独	2017年1月24日	和歌山県理学療法士 協会	平成27年度災害リハビリテーション推進 研修会 (和歌山県有田郡有田川町きびド ーム)
危機管理士総論	単独	2017年1月30日	日本危機管理士機構	危機管理士2級(自然災害)(東京都千代 田区明治大学危機管理研究センター)
南海トラフ巨大地震時の災害医療のあり方 ～高知県を例として～	単独	2017年1月31日	徳島大学	徳島県災害時遺体対応・遺族支援研究会 第1回研修会 (徳島県徳島市徳島大学長 井記念ホール)
首都直下地震を迎撃できるか?	単独	2017年2月1日	東京都水道局	地震防災研修 (東京都世田谷区東京都水 道局研修・開発センター)
我が国における災害の現状と学校防災の在 り方	単独	2017年2月2日	文部科学省	防災教育全国成果発表会 (東京都渋谷区 代々木国立オリンピック記念青少年総合 センター)
新たな企業防災	単独	2017年2月3日	倉敷商工会議所	倉敷商工会議所医療・福祉部会講演会 (岡山県倉敷市倉敷アイビースクエア)
新しい災害のステージに入った中国地方	単独	2017年2月4日	日本損害保険協会中 国支部	損保協会地震保険損害処理研修会 (広島 県広島市広島国際会議場)
国難となる巨大災害 に立ち向かうために、 我が国は今、何をすべきか	単独	2017年2月7日	自由民主党会館	自由民主党憲法改正推進本部

研究業績

「都市災害」「災害と危機管理」	単独	2017年2月8日	NTTラーニングシステムズ	防災士研修（大阪府堺市大阪いずみ市民生活協同組合本部）
西宮市民の備えと避難行動の基本	単独	2017年2月13日	西宮市	西宮市防災講演会（兵庫県西宮市西宮市民会館アミティホール）
和歌山から発信する世界津波防災の知恵	単独	2017年2月26日	和歌山県， 広川町	世界津波の日制定記念講演と稲むら太鼓（和歌山県和歌山市和歌山県民文化会館大ホール）
災害とは何か～「防災」ではなく「縮災をめざす」～	単独	2017年2月28日	日本自然保護協会	シンポジウム自然を活かした防災減災を考える（東京都港区東京海洋大学品川キャンパス・白鷹館）
防災士への期待	単独	2017年3月1日	日本防災士会	防災士10万人記念大会（東京都千代田区憲政記念館）
国難災害で我が国は減じる	単独	2017年3月2日	大阪倶楽部	講演会（大阪市中央区大阪倶楽部）
大阪に津波が来たら？	単独	2017年3月13日	大坂御堂筋本町ロータリークラブ	公開シンポジウム「語り継ぐ津波の脅威」（大阪府大阪市大阪国際会議場）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2017年3月20日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪府吹田市大阪研修センター江坂）
地震活動期に入っていることを忘れない！～危険な古い木造・プレハブ住宅～	単独	2017年3月26日	阪南市	阪南市防災講演（大阪府阪南市防災コミュニティセンター）
東京世界一危険な水害国日本	単独	2017年4月6日	一木会（東京都民銀行）	講演会（東京都千代田区如水会館）
門真市で発生する災害とその対策	単独	2017年4月8日	門真市	門真市「NPO法人地域防災サポート隊発足式」（大阪府門真市門真市民プラザ）
過去の震災に学び、これから整備すべき防災体制	単独	2017年4月10日	関西経済連合会	関西連評議員会（大阪府大阪市リーガロイヤルNCB）
熊本地震から1年～防災・減災の教訓と被災地の復旧・復興～	単独	2017年4月11・12日	西日本新聞社	西日本政経懇話会（福岡県北九州市ステーションホテル小倉・福岡県大牟田市オオムタガーデンホテル）
都市における大規模災害に備えて	単独	2017年4月22日	大阪イブニングロータリークラブ	ロータリーデー（大阪府大阪市阿倍野区天王寺都ホテル）
防災教育を再び問い直す	単独	2017年4月27日	近畿都市教育長協議会	平成29年度近畿都市教育長協議会定期総会（大阪府守口市ホテルアゴラ大阪守口）
近年の災害の発生傾向（1）	単独	2017年4月27日	関西大学	河田防災塾①（梅田キャンパス）
来るべき国難に備えるために	単独	2017年5月9日	飯田市	地震防災講演会（長野県飯田市飯田文化会館ホール）
災害がもたらす自然現象	単独	2017年5月14日	三重県・三重大学	みえ防災コーディネーター連絡会総会（三重県津市三重大学小ホール）
巨大災害に備えるために～大学はどうあるべきか～	単独	2017年5月16日	兵庫県立大学	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科開設記念式典（兵庫県神戸市兵庫県立大学神戸防災キャンパス）
「災害と危機管理」「都市防災」	単独	2017年5月18日	NTTラーニングシステムズ	平成29年度防災士育成研修（大阪府堺市大阪いずみ市民生協本部）
災害激動時代の縮災対策	単独	2017年5月24日	きんでん	安全大会特別記念講演（大阪府大阪市北区きんでん本社）
近年の災害の発生傾向（2）	単独	2017年5月25日	関西大学	河田防災塾②（梅田キャンパス）
南甲子園小学校の防災を考える～過去や各地の事例に学ぶ～	単独	2017年5月27日	西宮市立南甲子園小学校	防災講演（兵庫県西宮市南甲子園小学校体育館）
首都圏直下型地震研究最前線と企業の対策	単独	2017年5月30日	損保ジャパン日本興亜	首都直下地震対策セミナー（東京都中央区日本橋損保ジャパン日本興亜日本橋ビル）
熊本地震の教訓	単独	2017年6月1日	NPO人・家・街安全支援機構	第259回市民フォーラム（大阪府北区グランフロント大阪）
現代の縮図～災害医療をどうするか～	単独	2017年6月1日	震災対策技術展事務局	第4回災害対策技術展大阪（大阪府北区グランフロント大阪）
熊本地震を教訓として南海トラフ巨大地震で想定される被害	単独	2017年6月6日	四国地方整備局	平成29年度四国地方整備局危機管理講演（香川県高松市高松サンポート合同庁舎アイホール）

熊本地震の教訓と被災地の復興	単独	2017年6月8日	防犯防災総合展事務局	防犯防災総合展inKANSAI2017(大阪府大阪市インテックス大阪3・4号館間特設エリア)
来るべき南海地震と都市地震・津波防災	単独	2017年6月9日	京都府危険物安全協会連合会	京都府危険物安全大会(京都府京都市からすま京都ホテル3階瑞雲の間)
京都で起こる身近な災害～地震、水害、土砂災害～	単独	2017年6月10日	関西地質調査業協会	防災市民フォーラム京都(京都市京都商工会議所3階会議室)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2017年6月11日	防災士研修センター	防災士養成研修(大阪府大阪市シキボウホール)
災害対策上の課題(1)	単独	2017年6月29日	関西大学	河田防災塾③(梅田キャンパス)
防災について学ぼう	単独	2017年7月5日	帝塚山学院大学	大学FD研修会(大阪府堺市南区帝塚山学院大学泉ヶ丘キャンパス)
東京水没	単独	2017年7月7日	消防防災科学センター	平成29年度防災啓発中央研修会(東京都港区ニッショーホール)
必要とされる防災対策について	単独	2017年7月7日	さいたま市西区役所	本州東日本西区长サミット2017(埼玉県さいたま市馬宮コミュニティセンター)
平成28年熊本地震の教訓と今後の広域大災害への備え～縮災	単独	2017年7月22日	失敗学会大阪分科会	失敗学会第14回夏大会(大阪府高槻市関西大学高槻ミュージックキャンパス)
災害対策上の課題(2)	単独	2017年7月27日	関西大学	河田防災塾④(梅田キャンパス)
災害に強いマンション・ライフ	単独	2017年7月29日	オリックス不動産	「なかもずALLZ」防災セミナー(大阪府堺市なかもずALLZ)
災害と政治	単独	2017年8月3日	日本防災士地方議員連絡協議会	平成29年度研修(兵庫県神戸市人と防災未来センター)
熊本地震の教訓——きたる大震災に備えるために——	単独	2017年8月5日	関西大学教育後援会	震災復興祈念特別講演(熊本県熊本市TKPガーデンシティネストホテル熊本)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2017年8月6日	防災士研修センター	防災士研修講座大阪8月コース(大阪府大阪市シキボウホール)
国難災害を迎撃する	単独	2017年8月7日	地盤施工学現場事例研究会	第241回地盤施工学現場事例研究会(神奈川県逗子市KKR逗子松汀園)
最近の気象災害の特徴と防災	単独	2017年8月18日	大阪府市議会議長会	大阪府市議会議長会総会(大阪府大阪市KKRホテル大阪)
防災総論	単独	2017年8月19日	福岡市	平成29年度博多あんあん塾(福岡県福岡市読売新聞西部本社)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2017年8月20日	防災士研修センター	倉敷市防災士養成講座(岡山県倉敷市倉敷市消防局)
景観形成・環境に配慮した防災・減災について	単独	2017年8月21日	海岸保全・景観形成推進議員連盟	海岸等保全・景観形成に関する研修会(兵庫県神戸市自民党大会議室)
まちの防災力の向上を目指して	単独	2017年8月24日	近畿建設協会	2017シンポジウム「あなたのまちの防災力は？」(大阪府大阪市ドーンセンター)
危機管理総論	単独	2017年8月27日	日本危機管理士機構	平成29年度危機管理士2級試験(東京都千代田区明治大学危機管理研究センター)
地域防災と災害軽減システム 津波災害について	単独	2017年8月28日	JICA	平成29年度JICA研修(兵庫県神戸市JICA関西)
九州豪雨と熊本地震を反省する市民防災のあり方	単独	2017年9月2日	健康まちづくり推進協会	平成29年度「防災市民サミット」(兵庫県神戸市中央区神戸クリスタルタワー)
首都直下地震が起これば、わが国は衰退する	単独	2017年9月5日	経済同友会	産業懇談会第一火曜グループ9月例会(東京都千代田区丸の内日本工業倶楽部)
「もし巨大地震が襲ってきたら…」～今からできる対策は～	単独	2017年9月8日	埼玉県損害保険代理業協会	埼玉代協セミナー(埼玉県さいたま市大宮区ソニックシティ906号室)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2017年9月16日	防災士研修センター	防災士研修講座・神戸9月コース(兵庫県神戸市中央区神戸芸術センター)
災害に強いマンションライフ	単独	2017年9月17日	オリックス不動産	防災セミナー(大阪府堺市北区なかもずALLS)
災害対策上の課題(3)	単独	2017年9月28日	関西大学	河田防災塾⑤(梅田キャンパス)
巨大災害に備えるために～地域でわたしたちができること～	単独	2017年10月1日	枚方市	社会教育基礎講座(大阪府枚方市枚方市立地域活性化支援センター)

研 究 業 績

国難と地域の災害に備える	単独	2017年10月7日	兵庫県広域防災センター	平成29年度ひょうご防災リーダー講座 (兵庫県三木市市染町兵庫県広域防災センター)
近年における災害の発生傾向とその対策 (土砂災害等について)	単独	2017年10月19日	芦屋市	阪南市議会議長会研修(兵庫県芦屋市精道町芦屋市役所南館)
2016年熊本地震の教訓(1)	単独	2017年10月26日	関西大学	河田防災塾⑥(梅田キャンパス)
防災(自治体の危機管理)	単独	2017年11月2日	広島県	平成29年度研修(広島県広島市中区広島県自治総合研修センター)
高槻市の水害～淀川右岸・大塚切れから100年を迎えて～	単独	2017年11月5日	高槻市	防災フェア in 高槻防災講演(大阪府高槻市生涯学習センター)
被災シナリオに応じた効率的な応急復旧活動のあり方	単独	2017年11月6日	国土交通大学校	平成29年度専門課程TEC-FORCE(隊長候補)研修(東京都小平市国土交通大学校(小平本校))
いつ起こってもおかしくない災害に備える	単独	2017年11月8日	春日井市	平成29年度春日井安全アカデミー(愛知県春日井市ホテルプラザ勝川)
今後想定される首都直下地震、南海トラフ巨大地震などから災害大国・日本が生き残るために	単独	2017年11月9日	中央労働災害防止協会	第76回全国産業安全衛生大会防災・危機管理分科会(兵庫県神戸市神戸商工会議所)
南海トラフ巨大地震にどう備えるか	単独	2017年11月12日	日本防災士機構	列島縦断防災・減災公開講座 in 西宮(兵庫県西宮市兵庫医科大学平成記念会館)
災害多発時代を東部大阪地区はどう乗り越えるのか	単独	2017年11月14日	東大阪市	東部地区大阪治水対策促進議会協議会設立60周年記念講演(大阪府大阪市KKRホテル大阪)
南海トラフ巨大地震に対する新防災戦略	単独	2017年11月14日	BHN テレコム支援協議会	BHN 設立25周年・関西事務所活動10年記念講演会・写真展(大阪府大阪市大阪府立国際会議場)
災害事例から学ぶ、自治体防災の最前線	単独	2017年11月16日	リード エグジビジョン ジャパン(株)	関西オフィス防災 EXPO(大阪府大阪市インテックス大阪)
「都市防災」「災害と危機管理」	単独	2017年11月17日	NTT ラーニングシステムズ	平成29年度防災士育成研修(大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホール)
防災体制について学ぶ	単独	2017年11月18日	四日市市	四日市市防災大学基調講演(三重県四日市市役所)
災害対応力の強化	単独	2017年11月21日	全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所	トップマネジメントセミナー(滋賀県大津市全国市町村国際文化研修所)
滋賀県の災害リスクと必要な危機管理	単独	2017年11月21日	内外情勢調査会	滋賀県市長会(滋賀県大津市生涯学習センター)
自然災害に対応する地域と連携した防災教育・防災体制の構築	単独	2017年11月24日	宮城県	平成29年度防災教育を中心とした学校安全フォーラム(宮城県岩沼市岩沼市民会館)
2016年熊本地震の教訓(2)	単独	2017年11月30日	関西大学	河田防災塾⑦(梅田キャンパス)
九州北部豪雨の教訓と東京の水害リスク	単独	2017年12月1日	「防災ログ」事務局	防災・減災セミナー(東京都大田区産業プラザ PiO)
「奈良盆地車線断層地震による奈良市の被害」「南海トラフ地震時の奈良県の役割」	単独	2017年12月3日	奈良県	奈良県リーダー講座(奈良県大和高田市奈良県産業会館)
学校や家庭で災害や事故に巻き込まれない知恵”自己責任の原則と正解のない不安”	単独	2017年12月6日	門真市	門真市学校保健会(大阪府門真市門真市民プラザ)
今、企業に求められる防災・減災対策～最悪の想定をして被害を最小に～	単独	2017年12月8日	九州生産性本部	第59期九州生産性大学経営講座(福岡県福岡市 FFG ホール)
近年の自然災害に学ぶ、津波のしくみと被害	単独	2017年12月15日	NTT ラーニングシステムズ	平成29年度防災士育成研修(東京都港区新橋 Learning Square 新橋)
「都市防災」「河川氾濫と被害」	単独	2017年12月16日	防災士研修所	防災士研修奈良吉野コース(奈良県吉野町中央公民館)
これからの防災教育に必要な視点	単独	2017年12月17日	産経新聞社	防災&減災フォーラム(大阪府大阪市ハグミュージアム)
自然災害と日本の危機管理	単独	2017年12月19日	経営倫理実践研究センター	BERC 関西部会(大阪府大阪市関西大学ミューズキャンパス)

社会安全学研究 第8号

「都市防災」「災害と危機管理」	単独	2017年12月21日	NTTラーニングシステムズ	平成29年度防災士育成研修（大阪府大阪市梅田DTタワー）
2016年台風災害の教訓	単独	2017年12月21日	関西大学	河田防災塾⑧（梅田キャンパス）
「稲むらの火」から「百年後のふるさとを守る」へ	単独	2017年12月25日	守口市	守口市立小学校・中学校教諭研修
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 防災科学技術研究所・首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト	分担	2017～2021年	5,000 (25,000)	首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ活用に向けた連携体制の構築
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会（元会長）理事，名誉会員				
日本自然災害学会（元会長）理事，評議員				
土木学会フェロー，名誉会員				
日本地震工学会				
日本地震学会				
日本自治体危機管理学会				
アメリカ土木学会（ASCE）会員，アメリカ地球物理学連合（AGU），国際水理学会（IAHR）会員				
(社会貢献活動)				
人と防災未来センター センター長				
1.17ぼうさい甲子園審査委員会 委員長				
兵庫県立大学特任教授				
ひょうご21世紀研究機構副理事長				
NPO法人，環境防災総合政策研究機構（CeMI），理事長				
NPO法人，大規模災害対策研究機構（CDR），理事長				
NPO法人，人・家・街安全支援機構（LSO），理事長				
土木学会，調査研究部門／原子力土木委員会／J232津波評価部会（fⅡ）委員				
土木学会，調査研究部門／構造工学委員会／鉄道工学連絡小委員会／委員				
土木学会，企画部門／論説委員会委員				
土木学会，調査研究部門／海岸工学委員会相談役				
土木学会，レジリエンスの確保に関する技術検討委員会 委員				
日本地震学会，国際測地学協会及び地震学・地球内部物理学協会合同総会開催にかかる組織委員会委員				
内閣府，中央防災会議専門委員				
内閣府，中央防災会議防災対策実行会議委員				
内閣府，熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討ワーキンググループ 座長				
内閣府，南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対策検討ワーキンググループ 委員				
内閣府，防災関連調査研究の戦略的推進ワーキンググループ 座長				
国土交通省近畿地方整備局，大阪大規模水害対策検討会 アドバイザー				
国土交通省，濱口梧陵国際賞選考委員会 委員長				
大阪府，大阪府防災会議委員				
三重県，防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」委員				
奈良県，地域防災計画検討委員会 委員				
高知県，石油基地等地震・津波対策検討委員会 委員				
高知県，南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー				
兵庫県，ひょうご安全の日推進委員会，委員，企画委員長				
兵庫県，兵庫県防災会議地震対策計画専門委員会，副委員長				
兵庫県，災害救急医療システム運営協議会 委員				
熊本県，くまもと復旧・復興有識者会議 委員				
大阪市，大阪港地震・津波対策連絡会議，アドバイザー				
堺市，堺市防災会議委員				
関西広域連合，関西広域防災計画策定委員会 委員				

研 究 業 績

関西広域連合，我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会 座長
鳥取県，鳥取県政アドバイザースタッフ
(独) 日本学術振興会平成29年度博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員
東北大学，災害科学国際研究所共同利用・共同研究運営委員会 委員
全国知事会地方自治先進政策センター，頭脳センター専門委員
(財) 防災研究協会，業務運営委員
(社) 日本プロジェクト産業協議会，日本創成委員会／特別委員会（緊急タスクフォース），副委員長
(公益) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員
(公益) 計算科学振興財団評議員
東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト・生活復興委員会及びワーキングチーム委員
山辺・県北西部広域環境衛生組合新ごみ処理施設整備検討委員会委員
(株) エグジビジョンテクノロジーズ，「震災対策技術展」大阪 実行委員会 委員長

■ 安部 誠治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆) タクシー事業と安全の確保	単著	2017年7月	慶應義塾大学出版会	太田和博・青木亮・後藤孝夫編『日本のタクシー産業』257-269頁.
運輸産業の安全と労働問題	単著	2017年7月	旬報社	法政大学大原社会問題研究所『日本労働年鑑 第28集』67-98頁.
일본철도의 발전과 현황 (日本の鉄道の現況と経営)	単著	2017年10月	Book Gallery (ソウル)	李容相編『개정판 일본철도의 역사와 발전 (増補改訂版 日本の鉄道の歴史と発展)』26-38頁.
철도의 안전 (鉄道の安全)	単著	同上	同上	同上, 所収, 191-209頁.
Problems With Lifeline Recovery and Public Transportation	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Hiroshi Nishimura, Seiji Abe, pp.71-92.
The Great East Japan Earthquake and Nuclear Power Safety Regulation	分担執筆	同上	同上	Ibid., Mamoru Ozawa, Seiji Abe, pp.309-327.
(その他, 論考・研究資料等)				
対談「丹後町のウーバーは時代遅れ？」	共著	2017年1月	トラボルト	『traport』2017新年特別編集号, 10-11頁.
労・使・学トップ会談(前)「55歳割は経営の足かせ 特地協, 運賃, RSなど意見交換」	共著	2017年2月	陸運新報社	『陸運新報』NO.1794, 2-5頁, 前田泰宏, 加藤直人, 三野文男, 安部誠治.
労・使・学トップ会談(中)「横領事件には社会的責任を」	共著	2017年3月	陸運新報社	『陸運新報』NO.1795, 4-7頁, 前田泰宏, 加藤直人, 三野文男, 安部誠治.
労・使・学トップ会談(後)「サービス向上でRSに対抗を」	共著	2017年3月	陸運新報社	『陸運新報』NO.1796, 5-8頁, 前田泰宏, 加藤直人, 三野文男, 安部誠治.
書評: 葛西敬之著『飛躍への挑戦——東海道新幹線から超電導リニアへ』	単著	2017年5月	産経新聞社	『産経新聞』東京本社版, 書評欄.
利用者本位の目線期待	単著	2017年5月	毎日新聞	『毎日新聞』大阪本社版, 2017年5月26日11面, 「論点 大阪市営地下鉄の民営化」
鉄道トンネル火災事故における避難行動と救助活動	共著	2017年8月	西日本旅客鉄道株式会社安全研究所	『あんけん』Vol.10, 1-4ページ, 吉田裕, 安部誠治.
関西大学社会安全学部における安全教育の理念	単著	2017年7月	日本学術会議総合工学委員会	安全工学シンポジウム2017『講演予稿集』212-213頁.
交通産業における労働と安全	単著	2017年7月	日本労働組合総連合会	『連合総研レポート D I O』No.328: 2017年7・8月号, 4-7頁.
社会安全学部の理念と目標	単著	2017年9月	静電気学会	『静電気学会講演論文集2017』25-26頁.
特別寄稿 会議は踊る	単著	2017年10月	トラボルト	『traport』第409/114号, 8頁.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会招聘講演) 社会安全学部の理念と目標	単独	2017年9月11日	静電気学会	2017年度全国大会, 於・関西大学千里山キャンパス
(講演) 運輸産業の課題と展望	単独	2017年2月3日	大阪商工会議所運輸部会	第5回運輸部会, 於・ホテルプリムローズ大阪
関西大学社会安全学部における安全教育の理念	単独	2017年7月7日	日本学術会議総合工学委員会	安全工学シンポジウム2017, 於・日本学術会議
社会安全学部の理念と目標	単独	2017年9月11日	静電気学会	第41回全国大会, 於・関西大学千里山キャンパス
地方鉄道の活性化と安全性向上の課題	単独	2017年9月13日	日本大学生産工学部	日本大学生産工学部生産工学研究所特別シンポジウム, 於・日本大学生産工学部

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 公益事業学会 (理事) 日本交通学会 交通権学会 日本リスクマネジメント学会 鉄道史学会 日本安全学教育研究会
(社会貢献活動) 大阪府タクシー準特定地域合同協議会会長 (継続) 仙台市タクシー特定地域協議会会長 (継続) 大阪市域交通圏タクシー特定地域協議会会長 (継続) 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員 (継続) 事業用自動車事故調査委員会委員 (継続) トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会会長 (継続) 国土交通省・軽井沢スキーバス事故対策検討委員会委員 (継続) 東京地下鉄株式会社 ベビーカー引き摺り事故再発防止対策推進委員会 (継続)

■ 一 井 康 二

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 1995年兵庫県南部地震の港湾被害に基づく海岸護岸の照査基準に関する一考察	共著	2017年12月	公益社団法人 土木学会	土木学会論文集 A 1 (構造・地震工学), 小泉勝彦, 一井康二, 曾根照人, 平井俊之, 村上巧一, 山中稔, 73巻 (2017) 3号, p.604-621, 査読有
二次元有効応力解析における杭の周面摩擦力のモデルとパラメータ設定の検討	共著	2017年12月	(公社) 地盤工学会 中国支部	地盤と建設, 兵頭順一・森安俊介・宮下健一朗・宇野州彦・小堤治・一井康二, 公益社団法人地盤工学会中国支部論文報告集, Vol.35, No.1 (2017), pp.27-36, 査読有
携帯型電波発信機の土砂埋没時の性能評価	共著	2017年12月	(公社) 地盤工学会 中国支部	地盤と建設, 土肥聖平・一井康二, 公益社団法人地盤工学会中国支部論文報告集, Vol.35, No.1 (2017), pp.77-86, 査読有
(その他, 論考・研究資料等) 杭の先端支持機構における地盤内影響領域の実験的評価	共著	2017年12月	(公社) 地盤工学会 中国支部	地盤と建設, 鈴木大夢・一井康二, 公益社団法人地盤工学会中国支部論文報告集, Vol.35, No.1 (2017), pp.205-212, 査読有 (研究ノート)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 杭の先端支持機構における地盤内影響領域の実験的評価	共同	2017年7月7日	(公社) 地盤工学会 中国支部	第43回地盤工学セミナー報告会, 鈴木大夢・一井康二, 広島大学・学士会館レセプションホール, 広島県東広島市
携帯型電波発信機の土砂埋没時の性能評価	共同	2017年7月7日	(公社) 地盤工学会 中国支部	第43回地盤工学セミナー報告会, 土肥聖平・一井康二, 広島大学・学士会館レセプションホール, 広島県東広島市
Planning of Emergency Rescue Routes After Strong Earthquake in Myanmar, A Case Study of Mandalay	共同	2017年7月7日	(公社) 地盤工学会 中国支部	第43回地盤工学セミナー報告会, Yu Nandar Hlaing・一井康二, 広島大学・学士会館レセプションホール, 広島県東広島市
A study on the fundamental performance of a new constitutive model for clay based on the framework of the strain space multiple mechanism model	共同	2017年7月16-19日	ISSMGE/TC203	3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-III Vancouver 2017), Vancouver, Canada. (Tomohiro Nakahara, Susumu Iai, Kyohei Ueda, Koji Ichii, and Osamu Ozutsumi)
Influence area on the end bearing capacity of a pile in three-dimensional analysis under various soil conditions	共同	2017年7月16-19日	ISSMGE/TC203	3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-III Vancouver 2017), Vancouver, Canada. (Junichi Hyodo, Kyohei Sato, Yukio Tamari, Osamu Ozutsumi, and Koji Ichii)
Parameter identification for effective stress analysis from a multi-stage cyclic loading test	共同	2017年7月16-19日	ISSMGE/TC203	3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-III Vancouver 2017), Vancouver, Canada. (Koji Ichii, Toshiaki Murakami, Takeko Mikami)

研究業績

PBD of seawalls to prevent tsunami inundation - Performance criteria and Design example	共同	2017年7月 16-19日	ISSMGE/TC203	3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-III Vancouver 2017), Vancouver, Canada, (Katsuhiko Koizumi, Akito Sone, Toshiyuki Hirai, Koichi Murakami, Koji Ichii, and Minoru Yamanaka)
Performance of the Portable Signal Transmitter (Beacon) at Buried Condition in the Soil	共同	2017年8月 6-11日	Asia Oceania Geoscience Society	14th annual meeting of Asia Oceania Geoscience Society (AOGS), Singapore (Shohei Dohi and Koji Ichii)
Planning of Emergency Rescue Routes After Strong Earthquake in Myanmar, A Case Study of Mandalay	共同	2017年9月 13-14日	ISSMGE/TC303	The Fifth International Conference on Geotechnical Engineering for Disaster Mitigation and Rehabilitation (5th GEDMAR), Taipei, Taiwan (Yu Nandar Hlaing, Koji Ichii and Kyaw Zaya Htun)
Experimental Evaluation of Influence Zone for End Bearing Capacity of Piles	共同	2017年11月 12-15日	ICCEE2017	ICCEE2017, The 16th International Conference on Civil and Environmental Engineering, National Cheng Kung University, Tainan City, Taiwan (Hiromu Suzuki and Koji Ichii)
Performance of the Portable Signal Transmitter (Beacon) at Buried Condition in the Soil	共同	2017年11月 12-15日	ICCEE2017	ICCEE2017, The 16th International Conference on Civil and Environmental Engineering, National Cheng Kung University, Tainan City, Taiwan (Shohei Dohi and Koji Ichii)
A Basic Study of Soil Adhesion to Excavator Bucket	共同	2017年11月 12-15日	ICCEE2017	ICCEE2017, The 16th International Conference on Civil and Environmental Engineering, National Cheng Kung University, Tainan City, Taiwan (Xinhua Huang and Koji Ichii)
Earthquake-induced damage estimation of the road networks within small townships in Mandalay, Myanmar	共同	2017年11月 12-15日	ICCEE2017	ICCEE2017, The 16th International Conference on Civil and Environmental Engineering, National Cheng Kung University, Tainan City, Taiwan (Yu Nandar Hlaing, Koji Ichii and Kyaw Zaya Htun)
Simulation Report by Team: Hiroshima	共同	2017年12月 14-15日	LEAP	LEAP-USD-2017 Workshop, Walter A. Buehler Alumni Center, U.C. Davis, California, U.S.A (Koji ICHII, Kazuaki UEMURA, Naoki ORAI, and Junichi Hyodo)
(招待講演) 住宅地における土石流・地震・津波への備え～広島市の土石流災害の経験を踏まえて～	単独	2017年5月29日	大阪府住宅まちづくり部建築指導室	平成29年度「宅地防災月間」宅地防災技術研修会「安全なまちづくりをめざして」, エル・おおさか (大阪府立労働センター)
既存の建造物の耐震診断の課題と展望 ～チャート式耐震診断システムを例に～	単独	2017年6月1日	「震災対策技術展」大阪実行委員会	第4回「震災対策技術展」大阪 (コングレコンベンションセンター, グランフロント大阪, 大阪市)
An Index on the Appropriateness of Parameter Determination for Analysis Considering Liquefaction	共同	2017年9月 13-14日	ISSMGE/TC303	The Fifth International Conference on Geotechnical Engineering for Disaster Mitigation and Rehabilitation (5th GEDMAR), Taipei, Taiwan (Koji Ichii and Toshiki Murakami)
Seismic Acceleration Coefficient for Seismic Design of Gravity Quay Wall in Japan	単独	2017年11月6日	Ministry of Oceans and Fisheries, Korea	International Workshop on "Seismic Design for Port Facilities and Improvement of Earthquake Response", Hillstate Hall, Seoul, Korea
熊本地震における建造物被害	単独	2017年12月1日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	第8回 東京シンポジウム・首都直下地震・南海トラフ巨大地震へ備えよ！ —熊本地震から得た教訓—

社会安全学研究 第8号

構造物の維持管理への SIFT 特徴量を用いた画像解析の適用の試み	単独	2017年12月4日	一般財団法人 沿岸技術センター	海洋・港湾構造物維持管理士会 第14回 講演会(海峡メッセ下関, 山口県下関市)
Human Factors on Performance-based Seismic Design of Geotechnical Structures	単独	2017年12月 26-27日	中国城市規制学会 中国災害防御協会 南京大学	International Symposium on Urban Disaster Mitigation & 1st Conference on Urban Disaster Mitigation Planning and Standards in China, Taizhou, China
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (A)	分担	2017~2019年	600 (1,500)	一斉遠心実験・数値解析による社会基盤 施設の地震時挙動予測手法の高精度化 (代表:飛田哲男)
国土技術研究センター(第18回)研究開発 助成	代表	2017年	1,810 (1,810)	掘削機械バケットを用いた地盤調査手法 に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会)				
土木学会				
地盤工学会				
日本地震工学会				
日本地すべり学会				
(社会貢献活動)				
広島大学大学院工学研究科・客員教授				
和歌山県石油コンビナート等防災本部専門員				
大阪市港湾審議会委員				
一般社団法人FLIP コンソーシアム理事および特別顧問				
広島市防災士養成講座講師「地震のしくみと被害」(2017年12月3日)				
(その他業績として記載を希望する事項)				
国土交通省近畿地方整備局・局長表彰(2017年7月19日)				

研究業績

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Gravity-Feed Re-Flooding: A Fundamental Feature of the Cooling Process of High-Temperature Tube Wall and Scaling Parameter	分担執筆	2017年	Elsevier	Boiling - Research and Advances, Y. Koizumi, M. Shoji, M. Monde, Y. Takata and N. Nagai 編, pp. 759-777
The Great East Japan Earthquake and Nuclear Power Safety Regulation	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Mamoru Ozawa, Seiji Abe, pp.309-327.
(その他、論考・研究資料等)				
日本混相流学会設立30周年にあたって-学会創立前夜	単著	2017年	日本混相流学会	混相流, 31巻1号, pp.8-10
社会安全から見た火力発電の防災対策のあり方	単著	2017年10月	火力原子力発電技術協会	火力原子力発電, 68巻733号, pp.626-637
わが国の原子力技術開発のあり方	単著	2017年12月	エネルギーレビューセンター	エネルギーレビュー, 37巻12号, pp.45-46
ボイラー技術の史的展開 (第21回)	単著	2017年2月	日本ボイラー協会	ボイラー研究, No.401, pp.39-46
ボイラー技術の史的展開 (第22回)	単著	2017年4月	日本ボイラー協会	ボイラー研究, No.402, pp.29-38
ボイラー技術の史的展開 (第23回)	単著	2017年6月	日本ボイラー協会	ボイラー研究, No.403, pp.30-35
ボイラー技術の史的展開 (第24回)	単著	2017年10月	日本ボイラー協会	ボイラー研究, No.405, pp.27-34
ボイラー技術の史的展開 (第25回)	単著	2017年12月	日本ボイラー協会	ボイラー研究, No.406, pp.48-54
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演)				
工学教育におけるリベラルアーツの重要性		2017年6月16日	研究・イノベーション学会関西支部	第9回研究会, 大阪
化学プラント事故-事故はいつでも冷却喪失から		2017年7月15日	京都技術士会	京都
社会安全から見た火力発電の防災対策のあり方		2017年9月21日	BERC	関大梅田キャンパス
ボイラーの基本構造と技術課題		2017年9月26日	日本冷凍空調学会	2017年度日本冷凍空調学会年次大会, 玉川大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
日本学術振興会 科学研究費	代表	2015-2017年	700 (直接3,800, 間接1,140, 合計4,940)	高温高熱容量狭隘流路における沸騰流動ダイナミクス
戦略的基盤技術高度化支援事業	分担	2016-2018年	333 (関西大学配分合計7,386, 事業全体合計90,000)	水素混合燃料燃き小型高性能ボイラーの開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本機械学会 (フェロー, 名誉会員)				
The American Society of Mechanical Engineers (正会員)				
日本伝熱学会 (名誉会員)				
日本混相流学会 (正会員)				
火力原子力発電技術協会 (正会員)				
日本工学アカデミー (正会員)				
(社会貢献活動)				
(一社) 省エネルギーセンター管理研修講師				
日本電気制御機器工業会「セーフティベリックアセッサ (防爆) 認証委員会」委員				
日本電気制御機器工業会「機械安全に関する要員能力及びその認証手順の国際標準化評価委員会」委員				

日本電気制御機器工業会「平成29年度機械安全に関する要員能力基準JIS原案作成委員会」委員
大学基準協会「大学評価委員会評価分科会」委員
三和油化㈱「事故再発防止委員会」副委員長
大阪大学非常勤講師
関西電力「原子力安全検証委員会」委員

(その他業績として記載を希望する事項)

日本機械学会創立120周年記念功勞表彰(事業功勞, 東日本大震災調査提言分科会)

研 究 業 績

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Nuclear Plant Disaster and Safety	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Emiko Kanoshima, pp.251-268.
(学術論文) 日本語「安全を図る」と英語「take a risk」の異同の考察…翻訳文化の抱える課題	単著	2017年11月	科学技術社会論学会	第16回年次研究大会予稿集 p120~121
(その他、論考・研究資料等) 「危険」「安全」に込めた思想(連載)				
(8)「安全」=「safe, security」だろうか?	単著	2017年5月	危険物新聞	危険物新聞 761号 p2-3
(9)「安全」=「safety」といえるだろうか?	単著	2017年6月	危険物新聞	危険物新聞 762号 p3
(10)日本の発想と欧米の発想:safety型対策 security型対策の前提条件	単著	2017年7月	危険物新聞	危険物新聞 763号 p2-3
(11)日本の発想と欧米の発想:日本の「安全」「安心」の言葉の受け止め方/漢字「安」と「全」の特徴	単著	2017年8月	危険物新聞	危険物新聞 764号 p2-3
(12)日本の発想と欧米の発想:日本語「安全」と和語の影響/翻訳文化としての試練	単著	2017年9月	危険物新聞	危険物新聞 765号 p2-3
(13)日本の発想と欧米の発想:Holonomy型対策	単著	2017年10月	危険物新聞	危険物新聞 766号 p2-3
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 日本語「安全を図る」と英語「take a risk」の異同の考察…翻訳文化の抱える課題	単独	2017年11月26日	科学技術社会論学会 第16回年次研究大会	九州大学馬出キャンパス
(招待講演) 安全と安心の哲学…言葉の概念から考える ver.2	単独	2017年2月3日	社団法人日本電機工業会 原子力品質保証特別委員会	電気工業会館
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本安全教育学会 日本安全学教育研究会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO法人 安全学研究所 理事 和歌山県防災会議委員 和歌山県石油コンビナート等防災本部本部員				

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 決断力にみるリスクマネジメント リスクマネジメントの視点から見た市民マラソン	単著 分担執筆	2017年7月 2017年3月	ミネルヴァ書房 関西大学出版部	308p. 亀井克之・増田明美・杉本厚夫・西山哲郎・尾久裕紀、協力 吉田香織・打越忠夫『市民マラソンがスポーツ文化を変えた』第3章(亀井克之担当), pp.41-64.
市民ランナーの星はいかに誕生したか 新たなアスリート支援の可能性	分担執筆	2017年3月	関西大学出版部	亀井克之・増田明美・杉本厚夫・西山哲郎・尾久裕紀、協力 吉田香織・打越忠夫『市民マラソンがスポーツ文化を変えた』第4章(吉田香織・打越忠夫・亀井克之・増田明美), pp.65-102.
スポーツ文化から2020を考える	分担執筆	2017年3月	関西大学出版部	亀井克之・増田明美・杉本厚夫・西山哲郎・尾久裕紀、協力 吉田香織・打越忠夫『市民マラソンがスポーツ文化を変えた』第5章(増田明美・杉本厚夫・西山哲郎・尾久裕紀・亀井克之・吉田香織), pp.104-174.
リスクマネジメントの本質	分担執筆	2017年4月	同文館出版	亀井利明原著, 上田和勇編著, 214p., 第2章「リスクの意義・形態・本質」, 第4章「リスクマネジメントの本質」, 第7章「経営者の心の危機とその救済」, 第9章「現代企業におけるリスクマネジメントの役割」補筆.
How the Great East Japan Earthquake Affected Corporate Risk Management	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, <i>THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER</i> , Katsuyuki Kamei, pp.217-233.
(学術論文) International convergence and divergence on family entrepreneurship problems: the case of family firms in Japan	共著	2017年1月	Inderscience	<i>International Journal of Entrepreneurship and Small Business</i> , Vol.30, Issue4, Katsuyuki Kamei, Teruno Shinato, Leo-Paul Dana, pp.590-607. (査読あり)
ファヨール保全的職能論の現代的意義	単著	2017年5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第48号, ファヨール理論100周年 リスクマネジメント理論の100年 ファヨールの保全的職能論(1916年)から亀井利明の危機突破論(2016年)へ, pp. 11-20 (査読なし)
コンサートイベントにおけるリスクコントロール: コンサート出演契約に基づくリスク対応	共著	2017年5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第48号, 八木良太・大塚寛樹・亀井克之, pp. 64-83 (査読あり)
リスクマネジメントにおける意思決定とリスク情報	共著	2017年5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第48号, 大森勉・亀井克之, pp. 119-138 (査読あり)
アンリ・ファヨール経営管理論の現代的意義	単著	2017年5月	日仏経営学会	『日仏経営学会誌』第34号, pp. 1-5 (査読なし)
— リスクマネジメント論の視点から — リスクマネジメントの日仏比較 — 311から1113へ —	単著	2017年6月	大阪府防犯設備士協会	『大阪府防犯設備士協会 15周年記念誌』, pp.10-13. (査読なし)
中小企業経営者の健康とリスクマネジメント — 日仏共同第1回調査の結果から見えるもの —	単著	2017年10月	商工総合研究所	『商工金融』2017年10月号, pp.41-56. (査読あり)
(研究ノート) 熊本地震と訪日外国人旅行者への対応	共著	2017年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究 第7号, 亀井克之・石井至, pp.63-68.

研 究 業 績

音楽ライブのリスクマネジメント研究 — 韓国ポップ・アーティストの事例分析 フランスライブ劇場テロ被害補償制度の事例分析	共著	2017年2月	損害保険事業総合研究所	損害保険研究, 第78巻 第4号, 亀井克之・八木良太・大塚寛樹, pp.189-219.
(その他、論考・研究資料等)				
講演録 ケイコ・クルディ「逆境に負けない生き方」・山川景子「イヴレスの仕事」 イヴレスの未来のために	編著 分担執筆	2017年3月 2017年8月	関西大学経済・政治研究所 オータパブリケーションズ	「調査と資料」第115号, スポーツ・健康と地域社会研究班, 74p. 山川景子著『IVRESS STYLE しつらえの美学』pp.86-87.
健康経営とスポーツ支援—保険市場による大阪マラソンの取り組み—	単著	2017年3月	関西大学経済・政治研究所	セミナー年報2016, pp.69-71
市民ランナーの星はいかに誕生したか — 新たなアスリート支援の提案 —	共著	2017年3月	関西大学経済・政治研究所	セミナー年報2016, 亀井克之・増田明美・吉田香織・打越忠夫, p.73-91
経営者リスク もしものことがあった場合の対策はできていますか	単著	2017年4月	あんしん財団	あなたの職場に潜むビジネスリスク (1) 『あんしんLife』 vol. 538, 2017年4月号, pp.24-25
社内の不正行為 不正を発生させないための仕組みを作っていますか	単著	2017年6月	あんしん財団	あなたの職場に潜むビジネスリスク (3) 『あんしんLife』 vol. 540, 2017年6月号, pp.26-27
情報漏えい 社内で保護すべき情報が外部に漏れていませんか	単著	2017年8月	あんしん財団	あなたの職場に潜むビジネスリスク (5) 『あんしんLife』 vol. 542, 2017年8月号, pp.26-27
サイバーリスク 会社のコンピュータシステムは強固で安全ですか	単著	2017年10月	あんしん財団	あなたの職場に潜むビジネスリスク (7) 『あんしんLife』 vol. 544, 2017年10月号, pp.26-27
取引先の倒産 貸倒れ損失などを防ぐ対策を行っていますか	単著	2017年12月	あんしん財団	あなたの職場に潜むビジネスリスク (9) 『あんしんLife』 vol. 546, 2017年12月号, pp.26-27.
Disaster Prevention and Safety Education (KUMC)	単著	2017年6月	関西大学	<i>Examples of resolving community issues</i> , pp.5-6.
学生団体KUMC・社会安全学部生による防災・安全教育	単著	2017年2月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.3 2016, pp.128-129.
間伐材や地場の木材を使用した木の堀によるブロック塀代替プロジェクト	単著	2017年2月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.3 2016, pp.130-131.
中小企業経営者・個人事業主と健康経営	単著	2017年2月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.3 2016, pp.132-133.
老舗大国・日本の現状についての研究 — 事業継承・第二創業・健康経営 —	単著	2017年2月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.3 2016, pp.134-135.
スポーツ・健康と地域社会研究班 健康経営・アスリート支援	単著	2017年2月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.3 2016, pp.136-137.
たかつきの防災 目指せ！未来の防災リーダー	監修	2017年6月	高槻市総務部危機管理室	高槻市防災副読本, 高槻市立小学校5年生配布, 24p.
Rapport d'évaluation du programme « Stratégies inter-organisationnelles et innovation » de Labex Entreprendre	単独	2017年10月17日	Labex Entreprendre, l'Université Montpellier 1	Comité scientifique de Labex Entreprendre, l'Université Montpellier 1
(その他、エッセー)				
南仏モンペリエに中小企業経営者の健康を応援する研究者が世界中から集結 — 「中小企業経営者・アントレプレナーの健康」第1回国際ワークショップ—	単著	2017年1月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.78/2017新年号 (「太陽と健康の文化[南仏閑話]第25回), pp.19-20.
ラベンダーの香りに癒されて— エッセンシャルオイルができるまで—	単著	2017年4月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.79/2017春号 (「太陽と健康の文化[南仏閑話]第26回), pp.13-14.
プロヴァンス・プリントの老舗「ソレイアード」— ローヌ川沿いにたたくむ怪物伝説の街タラスコン—	単著	2017年7月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.80/2017夏号 (「太陽と健康の文化[南仏閑話]第27回), pp.15-16.
南仏の新学期— まったく言葉のわからない国の小学校に通うことになった子どもは—	単著	2017年10月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.81/2017秋号 (「太陽と健康の文化[南仏閑話]第24回), pp.15-16.

日本食は健康食 南仏アプトの自然食品店	単著	2017年4月	あんしん財団	AMAROK JAPAN ESSAY 太陽と健康の文化・南仏で見つけた健康で生き生きした中小企業経営者・個人事業主(1), pp.1-2.
(その他, 関西大学広報誌) 熊本地震調査・四川大学合同シンポ	単著	2017年1月	関西大学広報委員会	学部・研究科トピックス 『関西大学通信 Kandai Style』 Vol.456, p.10.
損害保険に関する寄付講座開講	単著	2017年12月	関西大学広報委員会	学部・研究科トピックス 『関西大学通信 Kandai Style』 Vol.464, p.10.
オリンピックから広がる学び 大きなスポーツイベントにはリスクマネジメントが不可欠	取材協力	2017年	関西大学入試センター	『大学で何が学べるか? ナニマナ2018』, p.13.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 40 Years Research Trends on Risk Management by Japan Risk Management Society (JARMS)	単独	2017年3月31日	Korean Risk Management Society	27th conference, Seoul
リスクマネジメントにおける意思決定とリスク情報	共同	2017年6月3日	日本情報経営学会	第74回全国大会 東京理科大学(神楽坂キャンパス富士見校舎) 日本リスクマネジメント学会共催セッション「現代社会におけるリスクマネジメントの展開」 大森勉・亀井克之
観光のリスクマネジメントにおけるリスクの意義	共同	2017年6月3日	日本情報経営学会	第74回全国大会 東京理科大学(神楽坂キャンパス富士見校舎) 日本リスクマネジメント学会共催セッション「現代社会におけるリスクマネジメントの展開」 石井至・亀井克之
イベントのリスクマネジメント・音楽ライブとマラソン大会を中心に	共同	2017年6月3日	日本情報経営学会	第74回全国大会 東京理科大学(神楽坂キャンパス富士見校舎) 日本リスクマネジメント学会共催セッション「現代社会におけるリスクマネジメントの展開」 亀井克之・八木良太・大塚寛樹
防災商品のマーケティング戦略・倒壊危険性のあるブロック塀を代替する木の塀を中心に	単独	2017年6月10日	日本商品学会	第68回全国大会, 立命館大学大阪いばらきキャンパス
中小企業経営者の健康資産 ― 日仏比較研究 ―	単独	2017年9月1日	日本経営学会	第91回大会, 岡山大学
(研究報告) 決断力にみるリスクマネジメント	単独	2017年8月23日	関西大学経済・政治研究所	公開研究会, 関西大学 梅田キャンパス
決断力にみるリスクマネジメント	単独	2017年9月13日	関西大学社会安全学部 亀井研究室	公開研究会, 関西大学 東京センター, 第1部
決断力にみるリスクマネジメント	単独	2017年9月13日	関西大学社会安全学部 亀井研究室	公開研究会, 関西大学 東京センター, 第2部
大阪ワインについて	単独	2017年9月20日	関西大学経済・政治研究所	関西大学教育研究高度化促進費研究会, スポーツ・健康と地域社会研究班研究会, 関西大学 児島惟謙館
「リスクマネジメント論の視点から: 3つのKの物語 ― 完走・仮装・海外 ―」	単独	2017年11月1日	関西大学経済・政治研究所	2017年度第7回公開セミナー「都市の物語 ― ロンドンマラソンから大阪マラソンへ ―」, 関西大学 梅田キャンパス
(招待講演) リスクマネジメントの日仏比較 (3.11から11.13へ)	単独	2017年1月27日	大阪府防犯設備士協会	大阪府防犯設備士協会創立15周年記念式典, KKR ホテル大阪
中小企業の健康経営とリスクマネジメント	単独	2017年2月3日	関西大学 社会連携部	関西大学次世代経営者塾第8回オープンセミナー, 関西大学梅田キャンパス
リスクマネジメント(危機管理)と企業価値	単独	2017年2月19日	大阪府工業協会	経営マネジメントビジネススクール, 大阪府工業協会
学生生活とリスクマネジメント	単独	2017年4月4日	大阪医科大学	大阪医科大学 大学安全対策室 新入生オリエンテーション 危機管理教育講演, 大阪医科大学

研究業績

中小企業の健康経営とリスクマネジメント — 日仏共同調査により —	単独	2017年 6月16日	はりま産学交流会	はりま産学交流会 創造例会, 姫路商工会議所
リスクマネジメントの基本的な考え方	単独	2017年 6月29日	大阪市男女共同参画のまち創生協会	子ども・子育てプラザ 職員研修, 大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館 (クレオ大阪子育て館)
決断力にみるリスクマネジメント	単独	2017年 8月30日	関西大学 社会連携部	次世代経営者塾 第4回, 関西大学梅田キャンパス
共通教養科目「学生生活とリスク」について	単独	2017年 9月11日	関西大学学生生活支援グループ	阪和地区月曜懇談会, ホテルアウイーナ大阪
リスクマネジメント概論	単独	2017年11月11日	大阪能率協会	第16回リスクマネジメント講座, 大阪産業創造館
決断力にみるリスクマネジメント	単独	2017年11月17日	堂島座会	堂島座会 第20回, 関西大学梅田キャンパス
実践RM 活動に向けて	単独	2017年11月18日	大阪能率協会	第16回リスクマネジメント講座, 大阪産業創造館
(通訳・司会等)				
大阪ブランドの過去・現在・未来『ブランド創造都市』大阪の推進と発信 — 食・安全・健康とスポーツ —	総合司会	2017年 3月16日	関西大学経済・政治研究所, 関西大学教育研究高度化促進費	関西大学 経済・政治研究所平成28年度第16回公開セミナー兼関西大学 教育研究高度化促進費プロジェクト研究会, 正木裕・橋爪紳也講演
スポーツによる地方再生 — 新潟でのアルビレックスの事例 —	総合司会	2017年 3月22日	関西大学 経済・政治研究所	平成28年度第17回公開セミナー, 関西大学東京センター, 第一部, 池田弘講演
市民マラソンがスポーツ文化を変えた	総合司会	2017年 3月22日	関西大学 経済・政治研究所	平成28年度第17回公開セミナー, 関西大学東京センター, 第二部, M高史・打越忠夫・吉田香織講演
アントレプレナーシップについて	通訳	2017年 5月16日	関西大学 経済・政治研究所	2017年度関西大学経済・政治研究所招へい研究者ロイ・チュリック講演会 (学生向け), 関西大学高槻ミュージズキャンパス
国際シンポジウム「アントレプレナーシップと経済活性化」	協力	2017年 5月19日	関西大学経済・政治研究所, 関西学院大学産業研究所	2017年度関西大学経済・政治研究所招へい研究者ロイ・チュリック講演会, 関西学院大学 大阪梅田キャンパス (アプローズタワー) 14階1405教室
Genes and Entrepreneurship: a discovery in the world of behavior and biology	協力	2017年 5月24日	関西大学経済・政治研究所, 一橋大学社会科学高等研究院	2017年度関西大学経済・政治研究所招へい研究者ロイ・チュリック講演会, 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター第10回定例研究会
ルワンダの奇跡 ジェノサイドからアフリカ有数の「安全」な国と呼ばれるまで	総合司会	2017年 5月30日	関西大学 経済・政治研究所	第1回公開セミナー, 関西大学高槻ミュージズキャンパス, 駐日ルワンダ大使ヴェネティア・セブダンティ講演
アントレプレナーシップについて	通訳	2017年 5月31日	関西大学 経済・政治研究所	2017年度関西大学経済・政治研究所招へい研究者ロイ・チュリック講演会 (学生向け), 関西大学千里山キャンパス
中小企業経営者の健康とアントレプレナーシップ	コーディネーター	2017年 6月 7日	関西大学経済・政治研究所, あんしん財団	2017年度関西大学経済・政治研究所招へい研究者ロイ・チュリック講演会, AMAROK 経営者健康あんしんアクション・セミナー, 関西大学東京センター
スポーツと 地域と 人づくりと	単独	2017年 6月14日	関西大学 経済・政治研究所	第222回産業セミナー, 関西大学梅田キャンパス, 増田明美・中野幸夫講演, 総合司会
2017年に発生した企業不祥事について	共同	2017年12月 9日	日本リスクマネジメント学会	関西部会, 関西大学高槻ミュージズキャンパス, コーディネーター
(その他)				
スポーツ・健康と地域社会研究班 平成29年度活動報告	単独	2017年 3月24日	関西大学 経済・政治研究所	平成29年度 顧問との懇談会, 関西大学児島惟謙館 会議室
危機管理とリーダーシップ	単独	2017年11月30日	大阪府立市岡高等学校	Kandai 1セミナー, 大阪府立市岡高等学校

社会安全学研究 第8号

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 課題番号:24530436	研究代表者	2012～2017年	800 (5,000)	中小企業の事業承継に関する日仏共同研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号:17K02374	研究分担者	2017～2020年	1,300 (4,160)	コンサートイベントのリスクマネジメントに関する理論的・実証的研究, 研究代表者 八木良太
国際交流助成基金による関西大学と協定大学間の共同研究助成(ルーベン・カトリック大学)	研究代表者	2016～2017年	700 (1,560)	中小企業のCSRと地域社会における変革マネジメント Corporate Social Responsibility of SMEs and Change Management at Community
関西大学 教育研究高度化促進費	共同研究者	2016～2018年	1,000 (3,780)	「ブランド創造都市」大阪の推進と発信 — 食・安全・健康 — 研究代表者 陶山計介
大妻女子大学・あんしん財団 共同調査	共同研究者	2017～2019年	4,796 (16,015)	AMAROK 経営者の健康あんしんアクション
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスクマネジメント学会 副理事長・事務局長				
日仏経営学会 常任理事				
ファミリービジネス学会 理事				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事				
日本経営学会				
日本商品学会				
日本中小企業学会				
日本保険学会				
情報経営学会				
事業承継学会				
リスク研究学会				
スポーツ社会学会				
PL 研究学会				
AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) フランス語圏国際アントレプレナーシップ・中小企業学会 副会長				
(社会貢献活動)				
日本経済学会連合 評議員				
経営学関連学会連絡協議会 委員				
モンペリエ大学・経営学部・企業家活動研究所 Labex Entreprendre, 学術委員会委員 Université Montpellier, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), membre de comité scientifique				
フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長				
関西大学経済・政治研究所, スポーツ・健康と地域社会研究班, 主幹				
2017年度関西大学経済・政治研究所外国人招へい研究者 オランダ・エラスムス大学ロッテルダム校経済学部 ロイ・チュリック教授 受け入れ責任者 (2017年5月9日～6月8日)				
株式会社 アドバンスクリエイト 社外取締役				
関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問				
通訳案内士・フランス語 (大阪府 第1139号 1996年6月28日交付)				
通訳案内士・英語 (関西広域連合 第 EN01034号 2017年12月28日交付)				
(非常勤講師)				
九州大学 ビジネススクール「経営リスクマネジメント」担当				
大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当				
(その他業績として記載を希望する事項)				
(記事掲載) 「社会安全学部が「保険」の学びに注力 日新火災とアドバンスクリエイトが協力」 保険毎日新聞 2017年1月19日 10面				
(記事掲載) 「教育ルネサンス 大学の生活支援1生活に潜むリスク 実例講義」読売新聞 2017年5月25日 朝刊19面				

研 究 業 績

- (記事掲載) 「中小企業経営者 日より仏の方がストレス度高い」, 労働新聞, 2017年6月19日
- (記事掲載) 「中小企業経営者の健康でプロジェクト発足 日仏蘭の大学教授が連携」, 保険毎日新聞, 2017年6月29日
- (記事掲載) 「体調がとてもしよい 経営者回答比較 仏70%・日21%」, 日刊工業新聞, 2017年6月8日
- (記事掲載) 「関大生が株主総会見学 グルメ杵屋」 日経産業新聞 2017年6月8日 19面
- (記事掲載) 「株主総会で関大生学ぶ グルメ杵屋が公開」 読売新聞 2017年6月22日 朝刊
- (記事掲載) 「日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会合同関東部会を開催 前千葉商科大学教授藤江氏による定年退官記念講演」 保険毎日新聞 2017年7月20日 10面
- (記事掲載) 【ビジネスの裏側】大虐殺乗り越えた「アフリカの奇跡」ルワンダ 日本からの投資に期待産経WEST
2017年7月12日掲載 <http://www.sankei.com/west/news/170712/wst1707120005-n1.htm>
- (記事作成) 「入管 ハラスメント」 読売新聞 2017年9月
- (記事掲載) 「関西の産官学 ルワンダ投資 熱視線」 産経新聞 2017年8月7日 朝刊19面
- (記事掲載) 「関西大学×大阪マラソン2017 関西大学の教育力と研究力 【全3回/vol.①】
第1回テーマ 「マラソン大会とリスクマネジメント」」 読売新聞 2017年11月4日 朝刊20面
- (記事掲載) 「日新火災 損害保険商品について講義 関西大学社会安全学部寄付講座の4講座を担当」, インシュアランス 損保版, 2017年12月21日
- (記事掲載) 「のぞみ亀裂 異変30件 漫然運行」 読売新聞 2017年12月28日 朝刊31面
- (高槻市教育委員会・防災教育事業協力) 2017年10月21日, よんぼーサイ2017, 高槻市立第四中学校区地域教育協議会主催, 高槻市立赤大路小学校において学生団体KUMCが防災授業
- (高槻市教育委員会・防災教育事業協力) 2017年11月20日, 高槻市立奥坂小学校5年生90人が高槻ミュージックキャンパスを訪問し亀井ゼミ生の案内による施設見学と学生団体KUMCによる防災授業体験
- (高槻市・防災教育事業協力) 2017年12月9日 高槻市立清水小学校・放課後教室において学生団体KUMCが防災授業
- (記事作成協力) 「第15回 リスクマネジメント講座について」『産業能率』大阪能率協会, 2017年7-8 夏季号, p17.
- (記事作成協力) 「第15回 リスクマネジメント講座について」『産業能率』大阪能率協会, 2017年9 -10月 錦秋号, p.23.
- (記事作成協力) 「AMAROK 経営者健康あんしんアクションプロジェクト (大妻女子大学・あんしん財団)
中小企業経営者・個人事業主の健康に関する調査がスタートしました」 あんしんLife あんしん財団 2017年2月号
- (記事作成協力) 「AMAROK 経営者健康あんしんアクションプロジェクト (大妻女子大学・あんしん財団) 中小企業・個人事業所にとって大切な経営者の健康問題について調査・研究を進めています」『AMAROK 経営者健康アクションによせて/オリビエ・トレス』あんしんLife あんしん財団 2017年3月号
- (記事作成協力) 「AMAROK 経営者健康あんしんアクションプロジェクト (大妻女子大学・あんしん財団) 電話調査」 あんしんLife あんしん財団 2017年5月号
- (記事作成協力) 「AMAROK 経営者健康あんしんアクションプロジェクト (大妻女子大学・あんしん財団) 電話調査」 あんしんLife あんしん財団 2017年5月号
- (記事作成協力) 「関西大学経済・政治研究所招へい研究者講演会
AMAROK 経営者健康あんしんアクション (大妻女子大学・あんしん財団)」 第一回セミナー テーマ:「中小企業経営者の健康とアントレプレナーシップ」オランダ・エラスムス大学ロッテルダム校教授のロイ・チュリック氏/亀井克之講演」 あんしんLife あんしん財団 2017年8月号
- (記事作成協力) 「AMAROK 経営者健康あんしんアクション (大妻女子大学・あんしん財団) 第一回調査結果の概要が日本経営学会で発表されました」 あんしんLife あんしん財団 2017年11月号
- (展示) 中央商工(株)による浄水装置の展示に亀井ゼミ生協力, 関西大学 防災デー, 2017年10月27日, 関西大学千里山キャンパス
- (コメント出演) めざましテレビ, 2017年7月26日放送, ジャスティン・ビーバーによるライブのキャンセルによる経済的損失についてコメント
- (学生団体指導) 学生団体KUMCによる防災・安全教育, 高槻市立五百住小学校放課後子ども教室, 2017年8月 など

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 歩きスマホの現状と衝突危険性の見積もり	単著	2017年12月	交通数理研究会	第23回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム論文集(査読有), pp.99-102
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2016~2018年	2200 (3600)	高密度群集の歩行経路追跡システムの開発と歩行者シミュレーションモデルの高精度化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機会学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 日本建築学会				
(社会貢献活動) セミナー「関大の知にふれる」, 「人ごみに潜む危険について学ぶ」(2017年9月16日)				

研 究 業 績

■ 越 山 健 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Current Status of Rebuilding Houses and Reconstructing Local Regions After the Great East Japan Earthquake	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, pp.47-69
(学術論文) 阪神・淡路大震災における建設仮設団地の空間分布に関する研究	単著	2017年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集No.31, pp.29-36 (査読有)
(その他、論考・研究資料等) 大災害時のトップマネジメント	分担執筆	2017年 3月	ぎょうせい	月刊ガバナンス 3月号, pp.24-26
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Sheltering Status after 1 year of the Multiple Disaster in Fukushima	単独	2017年 6月 2日	INFORMATION AND RESEARCH FOR RECONSTRUCTION	8 th i-Rec Conference: Reconstruction & Recovery for Displaced Populations & Refugees, Toronto
延焼シミュレーション活用による地域リスク評価と対策検討の試行	単独	2017年 8月30日	日本建築学会	2017年度日本建築学会中国大会, 広島
Sheltering Status After 1 year in Fukushima	単独	2017年 7月12日	NATUARL HAZARDS CENTER	42nd Annual Natural Hazards Workshop, Colorado
Disasters in Japan 2011	共同	2017年 6月23日	University College London	UCL IRDR Seminar 2017- Disaster in Japan 2011: The Latest Research, London
(招待講演) 福島県原子力発電所事故による避難行動と居住状況	単独	2017年11月20日	まちづくり支援機構	まちづくり支援機構付属研究会、神戸
帰宅困難者に係る課題	単独	2017年11月 9日	箕面市	箕面市帰宅困難者対応会議、箕面
防災まちづくり	単独	2017年12月 8日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部連続セミナー、大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤研究 (B)	代表	2014~2017年度	1100 (11900)	巨大災害を見据えたすまいの復興計画のあり方の研究
科学研究費 基盤研究 (A)	分担	2016~2020年度	150 (43550)	福島第一原子力発電所事故を教訓とした大規模緊急広域避難対策に関する社会情報学研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本建築学会都市計画委員会 都市防災ワーキンググループ 日本都市計画学会 地域安全学会 学術委員会委員 日本火災学会 都市住宅学会 日本自治体危機管理学会 日本災害情報学会 編集委員会委員 日本災害復興学会				
(社会貢献活動) 高槻市 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 委員 高槻市総合計画審議会 委員 京都府防災会議 戦略的地震防災対策推進部会 委員				

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) テキスト 健康科学 改訂第2版	分担	2017年2月	南江堂	竹内康浩, 田中豊穂監修, 第6章 健康観と健康に関する社会のしくみ, 231-252.
(学術論文) 避難指示解除された橋葉町と南相馬市の地域復興の現状と今後の展望	単著	2017年4月	医学書院	公衆衛生, Vol.81, No.4, 336-341.
衛生監視制度とそれを支えるプロフェッション	単著	2017年8月	医学書院	公衆衛生, Vol.81, No.8, 678-684.
(その他, 論考・研究資料等) 大阪の公衆衛生の温故知新——近代から現代——	単著	2017年2月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, 88号, 2-11.
イギリス社会における発展に学ぶ——自治体とプロフェッションによる自立的な活動——	単著	2017年6月	関西大学総合企画室 広報課	Reed No.49, 9-10.
フリマアプリで個人が野菜売り買い——匿名性高く危険も——	共著	2017年11月	毎日新聞	暮らしナビ, 10面.
国策「一億総活躍社会」は何をめざすのか	単著	2017年12月	全国保健師活動研究会	第49回全国保健師活動研究会報告書, 61-64.
保健所は公衆衛生の拠点となっているのか	単著	2017年12月	全国保健師活動研究会	第49回全国保健師活動研究会報告書, 121-124.
抗D免疫グロブリンの安全な投与に関する胎児RHDスクリーニング検査の妥当性: オランダの予防プログラム参加コホートをを用いた研究 Sensitivity of fetal RHD screening for safe guidance of targeted anti-D immunoglobulin prophylaxis: prospective cohort study of a nationwide programme in the Netherlands BMJ. 2016 Nov 7; 355: i5789. doi: 10.1136/bmj.i5789.	翻訳監修	2017年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_01ta.html
甲状腺がん流行と韓国における検診との関連の検討: 全国調査からの実証 Association between screening and the thyroid cancer "epidemic" in South Korea: evidence from a nationwide study BMJ. 2016 Nov 30; 355: i5745. doi: 10.1136/bmj.i5745.	翻訳監修	2017年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_02ta.html
エボラ・ウイルス病予防でのrVSVベクターワクチンの有効性と効果: ギニアでのリングワクチン接種非盲検クラスター無作為化試験 (Ebola Ça Suffit!) の最終結果 Efficacy and effectiveness of an rVSV-vectored vaccine in preventing Ebola virus disease: final results from the Guinea ring vaccination, open-label, cluster-randomised trial (Ebola Ça Suffit!) Lancet. 2017 Feb 4; 389 (10068): 505-518. doi: 10.1016/S0140-6736 (16) 32621-6. Epub 2016 Dec 23.	翻訳監修	2017年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_03ta.html

研 究 業 績

<p>広範囲薬剤耐性（XDR）結核患者と自宅退院結核患者の転帰，感染力，および伝播動態に関するコホート研究 Outcomes, infectiousness, and transmission dynamics of patients with extensively drug-resistant tuberculosis and home-discharged patients with programmatically incurable tuberculosis: a prospective cohort study Lancet Respir Med. 2017 Jan 18. pii: S2213-2600 (16) 30433-7. doi: 10.1016/S2213-2600 (16) 30433-7.</p>	翻訳監修	2017年 4 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_04ta.html
<p>母親と乳児の遺伝性変異，妊娠前後の選択的セロトニン再取り込み阻害薬の使用，および乳児の先天性心疾患のリスク：地域ベースの研究 Maternal and infant genetic variants, maternal periconceptional use of selective serotonin reuptake inhibitors, and risk of congenital heart defects in offspring: population based study BMJ. 2017 Mar 6; 356: j832. doi: 10.1136/bmj.j832.</p>	翻訳監修	2017年 5 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_05ta.html
<p>低LDL コレステロール， PCSK 9 と HMGCR の遺伝性変異， およびアルツハイマー病とパーキンソン病のリスク：メンデルランダム化試験 Low LDL cholesterol, PCSK 9 and HMGCR genetic variation, and risk of Alzheimer's disease and Parkinson's disease: Mendelian randomisation study BMJ. 2017 Apr 24; 357: j1648. doi: 10.1136/bmj.j1648.</p>	翻訳監修	2017年 6 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_06ta.html
<p>臨床的にシヌクレイン病と診断されたパーキンソン症候群患者の生存率と死因：人口ベース研究 Survival and Causes of Death Among People With Clinically Diagnosed Synucleinopathies With Parkinsonism: A Population-Based Study. JAMA Neurol. 2017 May 15. doi: 10.1001/jamaneurol.2017.0603.</p>	翻訳監修	2017年 7 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_07ta.html
<p>血中ニューロフィラメント軽蛋白はハンチントン病の神経変性の潜在的バイオマーカーとして使えるのか：後ろ向きコホート分析 Neurofilament light protein in blood as a potential biomarker of neurodegeneration in Huntington's disease: a retrospective cohort analysis Lancet Neurol. 2017 Jun 7. pii: S1474-4422 (17) 30124-2. doi: 10.1016/S1474-4422 (17) 30124-2.</p>	翻訳監修	2017年 8 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_08ta.html
<p>小児期の外傷関連入院歴を有する若年者の青年期における自傷及び暴力犯罪発生リスク：デンマークの全国コホート研究 Self-harm and violent criminality among young people who experienced trauma-related hospital admission during childhood: a Danish national cohort study Lancet Public Health. 2017 Jun 1; 2 (7) : e314-e322. doi: 10.1016/S2468-2667 (17) 30094-4. eCollection 2017 Jul.</p>	翻訳監修	2017年 9 月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_09ta.html

ハンチントン病の進行に関連する遺伝性多様体の同定：ゲノムワイド関連解析 Identification of genetic variants associated with Huntington's disease progression: a genome-wide association study. Lancet Neurol. 2017 Sep; 16 (9): 701-711. doi: 10.1016/S1474-4422 (17) 30161-8. Epub 2017 Jun 20.	翻訳監修	2017年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_10ta.html
小児期発症の炎症性腸疾患と発がんリスク評価：スウェーデンの1964-2014の全国コホートを使った研究 Childhood onset inflammatory bowel disease and risk of cancer: a Swedish nationwide cohort study 1964-2014 BMJ. 2017 Sep 20; 358: j3951. doi: 10.1136/bmj.j3951.	翻訳監修	2017年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_11ta.html
シミュレーションモデルによる合併症の有無別にみた外国（米国以外）生まれの居住者に対する潜在性結核感染の検査と治療に関する費用対効果分析 Cost-effectiveness of Testing and Treatment for Latent Tuberculosis Infection in Residents Born Outside the United States With and Without Medical Comorbidities in a Simulation Model. JAMA Intern Med. 2017 Oct 16. doi: 10.1001/jamainternmed.2017.3941.	翻訳監修	2017年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2017/bunken_12ta.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) イギリスのパブリックヘルス思想の形成過程の検討	単独	2017年 8月20日	日本社会医学会	第58回日本社会医学会総会（北海道当別市）
公衆衛生専門家のリーダシップ力に依拠するイングランドの公衆衛生体制の現状と課題	単独	2017年11月 1日	日本公衆衛生学会	第76回日本公衆衛生学会総会（鹿児島市）
シンポジウム 2020年低まん延化を見据えた新たな結核対策	共同	2017年 3月 2日	公益財団法人結核予防会結核研究所	第22回世界結核デー記念 国際結核セミナー
(招待講演) 災害時支援——高齢・障がい者対策——	単独	2017年 1月21日	関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学	三大学医工薬連携科学シンポジウム 大阪医科大学臨床第Ⅱ講堂
公衆衛生における保健所の役割	単独	2017年 6月 3日	八尾市職員労働組合	八尾市プリズムホール 第1会議室
健康と安全とプロフェッション——メディカル・プロフェッションと公衆衛生：日英比較——	単独	2017年 6月24日	関西工学倫理研究会	関西大学社会学部
近年の健康危機事例からみた自治体の役割と課題	単独	2017年 6月29日	羽曳野市議会	羽曳野市議会
公衆衛生の中で 今、保健師が果たす役割とは	単独	2017年 9月28日	大阪府健康医療部	保健師中堅期研修「公衆衛生看護研修」, 大阪府新別館北館
パネルディスカッション 家族介護から地域介護へ——事例から考える地域介護力の向上のための協働——	共同	2017年10月17日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市生涯学習センター多目的ホール
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 基盤研究 (A)	分担	2015~2017年	585 (1800)	食品安全のためのリスクコミュニケーションモデルの開発とプロフェッションの要件

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本社会医学会・理事長 日本公衆衛生学会・理事 日本結核病学会・代議員
(社会貢献活動) 大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 関西看護大学・非常勤講師 大阪府医師会調査委員会・委員 大阪府教育委員会事務局・学校保健指導医 大阪府感染症審議会・結核対策部会・委員 大阪市結核対策評価委員会・委員 大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 大阪府立学校結核対策審議会・委員 東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 豊中市市民病院運営審議会・会長 高槻市地域包括ケア推進会議・委員長 高槻市保健医療審議会・委員 高槻市感染症診査協議会・委員 枚方市健康増進計画審議会・会長 公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事 公益法人大阪公衆衛生協会・保健企画部会・会長 公益法人大阪成人病協会・評議員 ストップ結核パートナーシップ日本・理事 医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員 日本公衆衛生学会・感染症対策委員会・副委員長 日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 二宮尊徳に学ぶ「報徳」の経営	分担執筆	2017年10月	同友館	田中宏司・水尾順一・蟻生俊夫編著。私は第3章「尊徳の至誠 - 顧客満足 -」79-88頁を担当した。
(論考・研究資料等) 長期的な視座に立ったコンプライアンス部門の充実を 企業の危機管理体制の整備とBCP策定に関する報告と提言 アドバイザーの役割と今後の課題	単著 単著 座談会抄録	2017年7月 2017年1月 2017年10月	レクシスネクシス・ジャパン 経営倫理実践研究センター 経営倫理実践研究センター	Business Law Journal 巻頭言, 13頁 経営倫理85号, 6-9頁 経営倫理88号, 23-30頁。田中宏司, 池田耕一, 吉田邦雄, 高野一彦, 星野邦夫, 村松邦子による座談会抄録。
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 二宮尊徳の至誠、顧客満足	単独	2017年7月11日	日本経営倫理学会	CSR 研究部会, 於電力中央研究所 (東京)
改正個人情報保護法, GDPR の概要と企業における課題	単独	2017年7月7日	日本経営倫理士協会他	日本経営倫理士協会, 情報システム学会, 日本経営倫理学会, 及び経営倫理実践研究センター共同開催, 特別シンポジウム「情報セキュリティ — いま問われる企業力 —」における基調講演, 於筑波大学東京キャンパス文京校舎 (東京)
(招待講演) 改正個人情報保護法の論点と今後の動向	単独	2017年12月20日	関西大学	関西大学個人情報保護研修会, 於関西大学尚文館 AV 大教室 (大阪)
環境変化に対応するコンプライアンスリーダーの役割 — 情報に関するリスクを中心として —	単独	2017年12月1日	田辺三菱製薬株式会社	田辺三菱製薬コンプライアンス講演, 於田辺三菱製薬東京本社 (東京)
環境変化に対応するコンプライアンスリーダーの役割 — 情報に関するリスクを中心として —	単独	2017年11月27日	田辺三菱製薬株式会社	田辺三菱製薬コンプライアンス講演, 於田辺三菱製薬大阪本社 (大阪)
近年の法の変化と求められるコンプライアンス体制 — データ保護と内部通報制度を中止として —	単独	2017年10月3日	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社アドバイザーコミッテーター, 於中外製薬本社 (東京)
Crisis Management (危機管理) — 個人情報流出事件への対応と平時の準備 —	単独	2017年7月18日	瀬戸信用金庫	瀬戸信用金庫経営幹部講演会, 於瀬戸信用金庫本店 (愛知)
改正個人情報保護法の成立までの経緯	単独	2017年5月22日	経営倫理実践研究センター	BERC 時局セミナー, 於経営倫理実践研究センター (東京)
個人情報保護コンプライアンス	単独	2017年3月24日	株式会社東京放送ホールディングス	東京放送ホールディングス個人情報管理委員会, 於東京放送ホールディングス本社 (東京)
「コンプライアンスの知識・意識 — 経営判断から役員・従業員の私生活まで —	単独	2017年3月23日	アルフレッサファインケミカル株式会社	アルフレッサファインケミカル, コンプライアンス講演会, 於アルフレッサファインケミカル本社 (秋田)
内部統制システムと情報管理	単独	2017年3月15日	日本血液製剤機構	日本血液製剤機構トップセミナー, 於日本血液製剤機構本社 (東京)
ビッグデータとしての個人情報の利用と保護に関する課題	単独	2017年1月17日	株式会社ブリヂストン	株式会社ブリヂストン招聘講演, 於ブリヂストン本社 (東京)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C)	代表	2016~2018年度	1100 (3,500)	「新しい個人情報保護法制とグローバル企業の情報法コンプライアンスの研究」

研 究 業 績

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>日本経営倫理学会 常任理事 情報ネットワーク法学会 監事 日本リスクマネジメント学会 監事・評議員 ソーシャルリスクマネジメント学会 理事 日本リスク研究学会 会員 企業法学会 会員 法とコンピュータ学会 会員 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>経営倫理実践研究センター (BERC) 上席研究員 2012年3月～現在 日本経営倫理士協会 理事 2013年8月～現在 堀部政男情報法研究会 研究代表・理事 2010年4月～現在 ※個人情報保護委員会 堀部政男委員長の私的研究会として、AI時代の安全・安心な社会構築のための情報法制を研究し、論文集『プライバシー・個人情報保護の将来像 (仮題)』の執筆を進めている。 神戸市 個人情報保護審議会 委員 2016年2月～現在 株式会社アテランス 社外取締役 2016年5月～現在 関西電力株式会社 経営監査委員会 社外委員 2014年7月～現在 公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 2014年11月～現在 中外製薬株式会社 アドバイザリーコミッティーメンバー 2016年1月～現在 情報法制研究所 参与 2016年5月～現在</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>✓ティーチング・アワード受賞 客員教授を務める名古屋商科大学大学院 (MBA) において「極めて高い評価を得て、他の教員の模範となった教員」に贈られる『ティーチング・アワード』を受賞。同賞は2013～2016年度と4年連続での受賞。</p> <p>✓CSRレポート第三者意見等の執筆 「関西電力グループレポート2017のCSRに関するページを読んで」、所収「関西電力グループレポート2017」2017年、74頁 「第三者意見」、所収「ハウス食品グループCSRレポート2017」2017年、22頁 ※両社のCSRレポート第三者意見は、2012年から6年連続での執筆。</p>

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Concerns and New Measures for Tsunami Disaster Mitigation in Preparation for the Next Major Earthquake	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, pp.131-145.
(学術論文) 津波により陸上斜面上に形成される堆積砂分布に関する水理実験	共著	2017年9月21日	土木学会	原田賢治, 高橋智幸, 野島和也, 土木学会論文集 A1 (構造, 地震工学), Vol.73, No.4, pp.I_634-I_641, 査読有
GPS 波浪計を用いた特性化波源モデル推定法の検討とその適用例	共著	2017年10月17日	土木学会	門廻充侍, 高橋智幸, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp. I_307-I_312, 査読有
津波避難時における歩車の相互作用を考慮した数値シミュレーションの開発	共著	2017年10月17日	土木学会	亀田知沙, 高橋智幸, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp. I_349-I_354, 査読有
土砂移動が及ぼす津波ハザード及び建物被害への影響-東日本大震災の宮城県気仙沼市における津波氾濫・土砂移動・船舶漂流の統合計算-	共著	2017年10月17日	土木学会	山下啓, 嶋原良典, 菅原大助, 有川太郎, 高橋智幸, 今村文彦, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp. I_355-I_360, 査読有
引き波増大に及ぼす津波土砂移動及び沖合津波波形の影響評価	共著	2017年10月17日	土木学会	山下啓, 今村文彦, 岩間俊二, 菅原大助, 高橋智幸, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I_361-I_366, 査読有
津波堆積物形成における粒径と外力の影響に関する水理実験	共著	2017年10月17日	土木学会	山本阿子, 高橋智幸, 原田賢治, 櫻庭雅明, 野島和也, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I_367-I_372, 査読有
南海トラフ地震津波を対象とした建物倒壊および災害がれきを考慮した津波被害予測モデルの適用と被害軽減効果の検討	共著	2017年10月17日	土木学会	小園裕司, 高橋智幸, 桜庭雅明, 野島和也, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I_403-I_408, 査読有
チリ沿岸で発生する遠地津波を対象とした海洋レーダの観測性能に関する検討	共著	2017年10月17日	土木学会	岡本萌, 高橋智幸, 日向博文, 藤良太郎, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I_433-I_438, 査読有
破堤箇所の不確かさを考慮した多数洪水シナリオによる浸水リスク評価手法の開発	共著	2017年12月13日	日本自然災害学会	大野哲平, 高橋智幸, 自然災害科学, Vol.36, No.3, pp.321-332, 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) マイクロ水力発電技術を利用したサンゴ成長促進に関する基礎的検討	単独	2017年1月20日	関西大学先端科学技術推進機構	第21回関西大学先端科学技術シンポジウム, 関西大学100周年記念会館, 吹田市
DSM データを用いた建物倒壊と災害がれきを考慮した津波数値解析	共同	2017年3月6日	日本船舶海洋学会, 日本海洋工学会	小園裕司, 高橋智幸, 桜庭雅明, 野島和也, OES26-026, 第26回海洋工学シンポジウム, 東京
津波統合モデルによる津波複合被害の再現シミュレーション — 東日本大震災の宮城県気仙沼市で起こった津波に伴う土砂移動と船舶漂流 —	共同	2017年3月6日	日本船舶海洋学会, 日本海洋工学会	山下啓, 嶋原良典, 菅原大助, 有川太郎, 高橋智幸, 今村文彦, OES26-059, 第26回海洋工学シンポジウム, 東京
Basic hydraulic experiment on tsunami sand deposits related with sand grain size and bore wave	共同	2017年5月23日	日本地球惑星科学連合, American Geophysical Union	Ako Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, MIS09-073, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, 千葉市
Estimation of the Characterized Tsunami Source Model by Using the observed waveforms of GPS Buoys in the Nankai Trough	共同	2017年5月25日	日本地球惑星科学連合, American Geophysical Union	Shuji Seto and Tomoyuki Takahashi, HDS12-P05, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, 千葉市

研 究 業 績

Numerical Simulation of Composite Tsunami Hazards using Integrated Tsunami Model-Tsunami Inundation, Sediment Transport and Drifting Ships in Kesennuma City, Miyagi Prefecture during the Great East Japan Earthquake-	共同	2017年8月22日	The IUGG Joint Tsunami Commission	Kei YAMASHITA, Yoshinori SHIGIHARA, Daisuke SUGAWARA, Taro ARIKAWA, Tomoyuki TAKAHASHI and Fumihiko IMAMURA, ITS 2017, Bali, Indonesia
Basic concept and design of database on tsunami sources estimated from tsunami deposits in the Pacific coast of the Tohoku District in Japan	共同	2017年8月22日	The IUGG Joint Tsunami Commission	Tomoyuki Takahashi, Koji Kawasaki, Daisuke Sugawara and Kenji Hirata, ITS 2017, Bali, Indonesia
津波堆積物形成に関する土砂移動モデルの検証～移動床水理実験による単一粒径砂と混合砂の再現～	共同	2017年12月8日	東北大学	山本阿子, 高橋智幸, 原田賢治, 櫻庭雅明, 野島和也, 第7回巨大津波災害二関する合同研究集会, 仙台市
和歌山県に設置された海洋レーダを用いたリアルタイム津波成分抽出法の検討とその適用例	共同	2017年12月8日	東北大学	門廻充侍, 藤良太郎, 日向博文, 高橋智幸, 第7回巨大津波災害二関する合同研究集会, 仙台市
Hydraulic experiment on formation mechanism of tsunami deposit and verification of sediment transport model for tsunamis	共同	2017年12月11日	American Geophysical Union	Ako Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, AGU Fall Meeting 2017, NH13B-03, New Orleans, USA
Estimation of the Characterized Tsunami Source Model considering the Complicated Shape of Tsunami Source by Using the observed waveforms of GPS Buoys in the Nankai Trough	共同	2017年12月12日	American Geophysical Union	Shuji Seto and Tomoyuki Takahashi, AGU Fall Meeting 2017, NH23A-0203, New Orleans, USA
Hydraulic experimental investigation on spatial distribution and formation process of tsunami deposit on a slope	共同	2017年12月12日	American Geophysical Union	Kenji Harada, Tomoyuki Takahashi, Ako Yamamoto, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, AGU Fall Meeting 2017, NH23A-0226, New Orleans, USA
Numerical experiment on tsunami deposit distribution process by using tsunami sediment transport model in historical tsunami event of megathrust Nankai trough earthquake	共同	2017年12月12日	American Geophysical Union	Kentaro Imai, Daisuke Sugawara and Tomoyuki Takahashi, AGU Fall Meeting 2017, NH23A-0228, New Orleans, USA
Development of method for evaluating estimated inundation area by using river flood analysis based on multiple flood scenarios	共同	2017年12月14日	American Geophysical Union	Teppey Ono and Tomoyuki Takahashi, AGU Fall Meeting 2017, NH43B-02, New Orleans, USA
(招待講演)				
南海トラフ巨大地震対策の現状と課題～東日本大震災の津波被害を踏まえて～	単独	2017年1月31日	近畿不動産鑑定士協会連合会, 大阪府不動産鑑定士協会	新年賀詞交歓会・講演会, 大阪市
津波シミュレーションの最前線～多様な被災形態を予測する～	単独	2017年5月18日	関西大学社会安全学部	連続セミナー, 東京
水害を知り, そして備える ― 過去の被害に学ぶ ―	単独	2017年7月7日	豊中市	水防シンポジウム, 豊中市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2016～2018年	400	仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波計測性能検証と津波防災への展開
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	代表	2017～2019年	4,200 (12,900)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)	分担	2017～2019年	350	津波災害に対するまちづくりを含めた統合的減災システムの設計・評価と社会実装の検討
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2017～2019年	1,200	津波堆積物の形成過程に基づく来襲津波の評価手法の開発
中部電力原子力安全技術研究所 公募研究(一般)	分担	2017～2019年	296 (738)	津波計測レーダネットワーク構築のための海洋レーダと観測技術の開発

文部科学省委託事業南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト	分担	2013～2017年	0 (0)	巨大地震発生域調査観測研究
東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成	代表	2017年	898	津波統合モデル解析の高度化
関西大学先端科学技術推進機構 研究グループ	分担	2016～2018年	0 (0)	微弱電流を用いたサンゴ再生促進技術の開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本地震学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
可視化情報学会				
日本地球惑星科学連合				
歴史地震研究会				
American Geophysical Union				
(社会貢献活動)				
土木学会 原子力土木委員会 委員				
土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 委員				
土木学会 海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員				
土木学会 減災アセス小委員会 委員				
土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員				
日本自然災害学会 和文誌編集委員会 委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
Journal of Disaster Research Editorial Board Member				
文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員				
国土交通省 東北地方整備局リバーカウンセラー				
防災科学技術研究所 津波ハザード・リスク情報の高度利用に関する委員会 委員				
大阪府 防災会議 専門委員				
大阪府 河川構造物等審議会 委員				
大阪府 石油コンビナート等防災計画進行管理検討部会 専門員				
島根県 地震津波防災対策検討委員会 委員				
大阪市 港湾審議会 委員				
高槻市 水害・土砂災害ハザードマップ検討委員会委員				
高槻市 都市計画審議会 委員				
吹田市 総合計画審議会 委員				
特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 理事				
財団法人防災研究協会 非常勤研究員				

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) The Government and TEPCO Problems in Communicating Information With the Public During the Fukushima-1 NPP Accident	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Shoji Tsuchida, pp.287-308.
(学術論文) 福島県における東日本大震災に伴う関連死に関する検討	共著	2017年12月	日本原子力学会	日本原子力学会誌: Vol.59 (12), 49-53 (久保稔・静間健人と共著) (査読有)
(その他、論考・研究資料等) リスク認知とコミュニケーション	単著	2017年3月	日本原子力産業協会「原子力システム研究懇話会」	原子力システムニュース: Vol.27, No. 4, 25-27.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 東日本大震災時の関連死増加に関する考察：福島県で何故関連死が減らないのか？ 被透視感が援助要請意図に及ぼす影響	共同 共同	2017年3月27日 2017年8月27日	日本原子力学会 日本応用心理学会	日本原子力学会 2017年春の年会（東海大学 [神奈川県平塚市]）（久保稔と共同） 日本応用心理学会 第84回大会（立正大学 [東京都品川区]）（静間健人と共同）
(招待講演) Investgating Risk Communications by Japanese government at Fukushima-Daiichi NPP Accident. リスク認知とコミュニケーション 福島第一原発事故における政府等のリスクコミュニケーションの検証 福島第一原発事故後のリスクコミュニケーション NIMBY 設備に携わる者の心得：地域への寄り添い方 リスク認知とコミュニケーション 安全の概念とコミュニケーション Risk Communications at Fukushima-Daiichi Nuclear Power Station Accident. リスクコミュニケーション各論 Learning from the Risk Communications at Fukushima-Daiichi NPP Accident. リスクの社会心理 安全とリスクのガバナンス：社会心理学の観点から 安全とリスクの心理学 安全とリスクの心理学	単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独	2017年1月10日 2017年1月13日 2017年1月19日 2017年1月20日 2017年2月8日 2017年2月20日 2017年3月14日 2017年3月16日 2017年3月23日 2017年5月12日 2017年6月1日 2017年6月27日 2017年7月11日 2017年8月9日	Harvard Kennedy School, Tsinghua University, China Institute for Reform and Development 電源開発株式会社 関西大学先端科学技術センター 関西大学社会安全学部 東北電力株式会社 電源開発株式会社 原子力安全システム研究所 Universiti Utara Malaysia 日本作業環境測定協会 Sichuan University 関西大学社会安全学部 海外電力調査会 安全安心科学アカデミー 安全安心科学アカデミー	From the Management of Crisis to the Governance of Risk (CIRD [Haikou City, China]) 電源開発株式会社本社研修（大電源開発株式会社 [東京都中央区]） 第21回関西大学先端科学技術シンポジウム（関西大学100周年館 [大阪府吹田市]） 関西大学社会安全学部連続セミナー東日本大震災復旧・復興5年の検証（関西大学大阪センター [大阪府大阪市]） 東北電力社内研修：「より、そう、ちから。」講演会（東北電力株式会社山形技術センター [山形県山形市]） 平成28年度リスクコミュニケーション研修（大間原子力建設所 [青森県大間町]） 3月度定例講演会（原子力安全システム研究所 [福井県美浜町]） UUM/KU Joint Research seminar on Disaster. (Universiti Utara Malaysia [Sintok, Malaysia]) 認定オキュベイショナルハイジニスト講座（三田労働基準協会 [東京都港区]） 2017 Banaqia Symposium on Disaster Jurisprudence. ([Banaqia, China]) 関西大学社会安全学部連続セミナー：安全・安心に関わる科学技術の最前線（関西大学東京センター [東京都千代田区]） 海外電力調査会ワシントン事務所研修（海外電力調査会ワシントン事務所 [Washington DC, USA]） 放射線安全管理士資格認証講習（安全安心科学アカデミー [大阪府大阪市]） 放射線安全管理士資格認証講習（安全安心科学アカデミー [大阪府大阪市]）

社会安全学研究 第8号

リスクマネジメント研修	単独	2017年9月29日	経済産業省	平成29年度原子力の安全性向上を担う人材育成事業（若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市]）
社会心理学から観た『安全』と『リスク認知』	単独	2017年10月27日	日本保健物理学会	自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会第2回会合 [東京都港区]
社会的合意形成とリスクコミュニケーション（指定討論）	単独	2017年11月1日	保物セミナー2017実行委員会	保物セミナー2017（大阪科学技術センター [大阪府大阪市]）
原子力の平和利用に関わる市民とのコミュニケーション	単独	2017年11月7日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三（東京大学 [東京都文京区]）
消費者教育と高齢者を見守る地域ネットワークの構築	単独	2017年12月20日	高知県	2017年度高知県消費生活相談員研修（消費者教育）第8回（高知市消費生活センター [高知県高知市]）
Risk communication at disaster: based on Fukushima-1 NPP accident case.	単独	2017年12月26日	Urban Planning Society of China; China Association of Disaster Prevention; Nanjing University	International Symposium on Urban Disaster Mitigation (Pengxian Internationl Hotel [Taizhou, China])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東北電力株式会社「受託研究」	代表	2017年度	1,589 (1,589)	EMFコミュニケーションの動向調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本リスク研究学会 The Society for Risk Analysis 日本心理学会 日本社会心理学会 日本グループ・ダイナミクス学会 日本応用心理学会 日本行動計量学会 日本原子力学会 日本消費者行動研究学会				
(社会貢献活動) The Society for Risk Analysis, Councilor (一社) 日本原子力学会, 社会・環境部会部会長 (公益財) JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員 (財) 電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員 (財) 電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員 (財) 電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー (財) 大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員 高槻市, 「高槻市消費者教育推進研究会」オブザーバー				

研究業績

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Building Back a Better Tohoku After the March 2011 Tsunami: Contradicting Evidence	分担執筆	2017年3月	Springer	Santiago-Fandiño, V., Sato, S., Maki, N., Iuchi, K. eds. The 2011 Japan Earthquake and Tsunami: Reconstruction and Restoration (Advance in Natural and Technological Hazards Research Vol.47), pp.37-54, 査読有.
The Great East Japan Earthquake: Current Status and Problems of Recovery	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Shingo Nagamatsu, pp.29-45.
(学術論文) Job Creation after Catastrophic Events: Lessons from the Emergency Job Creation Program after the 2011 Great East Japan Earthquake	共著	2017年1月	The Japan Institute for Labour Policy and Training	Shingo Nagamatsu & Akiko Ono, Japan Labor Review, Vol.14, No.1, Winter 2017, pp.112-131.
復興とは何か：回答のための4つのアプローチ	単著	2017年9月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2017神戸大会予稿集, pp.131-134.
災害リスク情報と市場メカニズム	単著	2017年10月	京都大学防災研究所	日本災害情報学会第19回学会大会予稿集, pp.134-135.
2つの地震リスク情報と不動産市場の反応	共著	2017年10月	京都大学防災研究所	今泉賢吾, 永松伸吾, 日本災害情報学会第19回学会大会予稿集, pp.248-249.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) A Comprehensive Framework for Assessing and Responding to Disaster-Related Migration (Coordinator)	共同	2017年7月12日	Natural Hazard Research Center, Colorado University	Annual Natural Hazard Research Workshop, Bloomfield, CO. USA.
'Building Back Better' Tohoku: A Contradicting Evidence	単独	2017年8月25日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society	HARPA, Reykjavik, Iceland
Cash for Work と連帯経済	単独	2017年9月30日	日本災害復興学会	兵庫県立大学, 神戸
復興とは何か	単独	2017年10月1日	日本災害復興学会	兵庫県立大学, 神戸
災害リスク情報と市場メカニズム	単独	2017年10月21日	日本災害情報学会	京都大学宇治キャンパス, 宇治
2つの地震リスク情報と不動産市場	共同	2017年10月21日	日本災害情報学会	京都大学宇治キャンパス, 宇治
Probabilistic or Deterministic: which risk does market reflect on land prices?	共同	2017年10月21日	International Disaster Risk Conference	Sendai International Center, Sendai
(招待講演) How did recovery policies from 2011 disaster promote or reduce local resilience?	単独	2017年1月13日	Multinational Resilience Policy Group (MRPG)	International Resilience Symposium, Takatsuki Muse Campus, Kansai University.
The Challenges for Japanese Disaster Management	単独	2017年3月2日	Cabinet Office, UK	10th Local Resilience Forum Chairs Conference, London.
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費基盤B	代表	2017~2019年度	5,600 (16,250)	疑似実験的手法を用いた防災政策の実証的評価
科研費基盤B	分担	2016~2018年度	600 (17,680)	自然災害安全性指標 (GNS) 構築のための脆弱性評価の確立と防災戦略への反映
関西大学教育研究促進費	分担	2017~2018年度	1,416 (2,618)	災害移民に関する国際的研究連携体制の構築

Interectural Exchange Program, The Japan Foundation, Center for Global Partnership	分担	2017～2018年度	USD 44,363 (85,379)	A Comprehensive Framework for Assessing and Responding to Disaster-Related Migration
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公共政策学会				
日本経済学会				
日本計画行政学会				
地域安全学会				
日本自然災害学会				
日本リスク研究学会				
日本災害復興学会				
日本行政学会				
日本災害情報学会				
(社会貢献活動)				
地盤工学会関東支部 自然災害に対する安全性指標 (GNS) の開発とその利活用に関する研究委員会 委員				
国土技術研究センター 河川研究会 委員				
明石市国民保護協議会 委員				
地域安全学会 学術委員				
日本災害復興学会 理事				

研 究 業 績

■ 中 村 隆 宏

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 空港の救急医療体制を充実させる自転車救急隊 (招待講演) 疑似的な危険体験は安全教育として効果的か? / リスクアセスメントに取り組むうえでの課題・問題点とその対応	共同・単独	2017年11月10日	日本航空医療学会	第24回学術集会, 八戸グランドホテル
労働災害減少に向けた危険感受性の向上と危険敢行性の低減について	単独	2017年 2月15日	群馬県電力関連産業経営連合会 / 群馬県電力関連産業労働組合総連合	平成28年度群馬県電力関連産業安全衛生大会, 東京電力パワーグリッド株式会社群馬総支社東電ホール
安全とヒューマンエラーへの対応	単独	2017年 6月 5日	東北電力株式会社	東北電力グループ労使安全衛生大会, 山形大手門パルズ
	単独	2017年10月20日	かずさ救命会	平成29年度かずさ救命会講演会, 東京ベイホテル
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 国際交通安全学会 自主研究調査プロジェクト	分担	2017年度		アクセルとブレーキの踏み違いに関係する高齢者の認知・行動特性の分析
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本心理学会 正会員				
日本応用心理学会 正会員				
日本人間工学会 正会員				
日本交通心理学会 正会員				
産業組織心理学会 正会員				
日本ヒューマンインタフェース学会 正会員				
土木学会 正会員				
電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員				
日本航空医療学会 正会員				
日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員				
(社会貢献活動)				
東北大学大学院 東北電力受託研究プロジェクト「組織安全と現場における作業実態と手順書の関係に着目したヒューマンファクタ研究」技術情報交換研究会 2017年 4月～				
東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2017年 4月～				
一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2017年 6月 1日～11月30日				
東京電力ホールディングス株式会社ビジネスソリューション・カンパニー人財・組織開発センター 「安全教育研修」の実施に伴う指導・評価 ～2018年 3月				
茨城県経営者協会 第7回「ヒューマンエラー防止セミナー」講師 2017年10月27日 水戸プラザホテル				
一般社団法人全国登録教習機関協会 ドラグショベル運転業務従事者「危険再認識教育」に係る講師養成研修 講師・総合指導 2017年 3月16日～17日@コベルコ教習所西明石センター				
一般社団法人全国登録教習機関協会 高所作業車運転業務従事者「危険再認識教育」に係る講師養成研修 講師・総合指導 2017年 8月 29日～30日@アイチ研修センター新治教習所				

■ 西村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Problems With Lifeline Recovery and Public Transportation	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Hiroshi Nishimura, Seiji Abe, pp.71-92.
(学術論文) 交通を論じるとはどういうことか	単著	2017年3月	中央大学経済学部	『経済学論纂』（中央大学）、第57巻第3・4号、103-118頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(講演) 都市と交通まちづくり	単独	2017年12月15日	関西大学社会安全学部	連続セミナー『地域コミュニティと社会安全学』第9回 関西大学 梅田キャンパス
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本交通学会（理事）				
日本海運経済学会（評議員）				
港湾経済学会				
交通権学会				
公益事業学会				
日本物流学会				
日本環境会議（理事）				
(社会貢献活動)				
公益財団法人 地域再生センター（通称あおぞら財団） 評議員				
高槻市産業振興審議会委員				
高槻市まちづくり交付金事業字魚評価委員会委員長				
京都市域タクシー準特定地域協議会会長				
広島交通圏タクシー特定地域協議会会長				
大阪タクシーセンター 評議員				

研究業績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 熊本地震の前震活動における防災情報提供の課題	単著	2017年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, vol.7 p.69-75.(査読無)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 日本統治時代に台湾で発生した地震の被害および対応の特徴	単独	2017年9月15日	歴史地震研究会	歴史地震研究会つくば大会, つくばイノベーションプラザ
地球科学者の社会的課題への向き合い方～島津康男博士の足取りから考える～	単独	2017年10月7日	地学史研究会	第68回地学史研究会, 早稲田奉仕園スコットホール
不確実な地震予測情報が社会及び個人の防災行動に与える影響に関する調査研究	共同	2017年10月26日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, かがしま県民交流センター
日本統治時代に台湾で発生した震災の再調査とその防災上の意義	単独	2017年10月27日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, かがしま県民交流センター
(招待講演) 地震・津波発生メカニズムと実態(事例)	単独	2017年1月24日	内閣府	平成28年度第2期, 有明の丘基幹的広域防災拠点施設
地震と鉄道～被災の歴史と対策の進化～	単独	2017年3月11日	日本技術士会近畿本部機械システム部会	日本技術士会近畿本部第63回機械システム部会, 大阪科学技術センター
地震予知の科学と防災	単独	2017年5月11日	関西大学社会安全学部	連続セミナー 安全・安心に関わる科学技術の最前線, 関西大学東京センター
地震予知と学校対応 ～東海地震対策の特殊性と将来展望～	単独	2017年5月17日	静岡県教育委員会	平成29年度静岡県公立高等学校防災担当者研修会, グランシップ
地震・津波発生メカニズムと実態(事例)	単独	2017年9月7日	内閣府	平成29年度第1期, 有明の丘基幹的広域防災拠点施設
災害情報 南海トラフ地震の地震予知を中心にして	単独	2017年11月9日	高知大学	高知大学共通教育教養科目「災害と生きる」高知大学
地震・津波のしくみと被害	単独	2017年11月12日	上越市	平成29年度上越市防災士養成講座, ユートピアくびき・希望館第一会議室
南海トラフ巨大地震と地震予知	単独	2017年11月18日	関西大学	第26回高槻ミュージックキャンパス講座, 関西大学高槻ミュージックキャンパス
巨大災害(地震・津波)に備えて～熊本地震などの教訓から～	単独	2017年12月2日	尼崎市塚口西自主防災会	尼崎市塚口西自主防災訓練, 尼崎北高校体育館
南海トラフ巨大地震に向けた地震情報の活用策	単独	2017年12月14日	尼崎市中央公民館	尼崎市中央公民館講座, 尼崎市中央公民館
地しんの大きさを測ろう!	共同	2017年12月21日	関西地震観測協議会	関震協地震教育WG, 神戸市立西須磨小学校
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 平成29年度国立歴史民俗博物館総合資料学奨励研究	代表	2017年7月-2018年3月	700(700)	歴史資料と現地観測にもとづく日本統治時代に台湾で発生した地震の地球科学・防災科学的特徴の解明
平成29年度京都大学防災研究所一般共同研究	分担	2017年4月-2018年3月	120(1,238)	不確実な地震予測情報が社会及び個人の防災行動に与える影響の評価
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会, 海外渡航旅費助成金審査委員 歴史地震研究会, 総務委員長 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会				

(社会貢献活動)

静岡大学防災総合センター客員教授 (2016-)

公益社団法人日本地震学会, 代議員 (2006-)

歴史地震研究会, 総務委員長 (2015-)

日本金属プレス工業協会, 理事 (2016-), 安全環境委員会・委員 (2013-)

中部電力, 原子力安全技術研究所 アドバイザリ・コミッティ委員 (2013-)

研究業績

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 公共事業の受容に影響を及ぼす要因の包括的理解のためのフレームワーク	共著	2017年	土木学会	土木学会論文集D3, 73巻1号, 97-102頁 尾花恭介・藤井聡・広瀬幸雄 (査読有)
無知のヴェールは合意形成を促進するか：指定廃棄物処分立地ゲームを用いた検討	共著	2017年	日本シミュレーション&ゲーミング学会	シミュレーション&ゲーミング, 26巻1号, 21-32頁 横山実紀・大沼進・広瀬幸雄 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) Effects of affect, procedural fairness and trust on public acceptance of siting a repository for radioactive contaminated wastes	共同	2017年6月20日	SRA-E	SRA-E annual conference, 19th~21st, June, Lisbon, Portugal.
指定廃棄物の長期管理施設に対する立地受容判断の当事者性の違い	共同	2017年10月28日	日本社会心理学会	第58回社会心理学会大会 広島大学
NIMBY 施設の受容に補償金のフレームが与える影響	共同	2017年10月28日	日本社会心理学会	第58回社会心理学会大会 広島大学
利害当事者間の合意形成失敗の経験が無知のヴェール下での決定の公正な判断に与える影響：指定廃棄物処分立地ゲームを用いた検討	共同	2017年11月3日	日本シミュレーション&ゲーミング学会	日本シミュレーション&ゲーミング学会 2017年度秋季大会 北海道科学大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2016~2018年	4900千円 (14000千円)	高レベル放射性廃棄物地層処分の合意形成での手続き的・分配的公正機能の日欧比較
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会 日本社会心理学会 日本心理学会 土木学会 日本リスク研究学会				

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 2013年台風第18号による洪水が滋賀県の水田における大型鰻脚類の分布に及ぼした影響	共著	2017年3月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究 第7号, pp. 25-46 山川栄樹, 琵琶湖博物館はしかけ田んぼの生きもの調査グループ, (査読有)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本オペレーションズリサーチ学会 システム制御情報学会 日本陸水学会 日本甲殻類学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部運営委員				

研究業績

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 憲法理論とその展開 ― 浦部法穂先生古稀記念 Q&A 個人情報保護法の法律相談	分担執筆 分担執筆	2017年6月 2017年6月	信山社 民法研究会	門田孝＝井上典之編 担当部分「自然災害と国家緊急権」233～255頁 岡村久道編 担当部分「Q68 防災対策における個人情報保護」312～316頁、「Q74 防災対策におけるマイナンバー」344～346頁
Legal System for Supporting Disaster Victims	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Eiichi Yamasaki, pp.161-176.
(学術論文) People Who Cannot Move During a Disaster –Initiatives and Examples in Japan Disaster Victim Support 熊本地震における被災者支援	単著 単著	2017年1月 2017年3月	Fuji Technology Press 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	Journal of Disaster Research, Vol.12 No.1, pp.137-146 社会安全学研究 第7号 77～86頁
(その他、論考・研究資料等) 災害甲斐金に関する最高裁への意見書 分科会4 災害復興法学の可能性	単著 単著	2019年1月 2019年12月	山崎栄一本人による執筆 日本災害復興学会	仙台高裁平成28年4月26日判決（同平成27年（行コ）第7号災害甲斐金不支給処分取消請求控訴事件）に対する上告および上告受理にかかる意見書 最高裁2017年1月17日決定 全7頁 JSDRR Newsletter No.29 3頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立 インクルーシブ防災を実現する法制度設計 災害対策基本法（災対法）の構造と変遷 自治体の独自施策 ― 被災者支援制度の将来像 日本における教育機関の防災体制 災害復興法学の可能性 避難所・避難生活に関する法制度の周知	単独 共同 単独 単独 単独 コーディネーター 単独	2017年2月27日 2017年3月12日 2017年5月15日 2017年5月20日 2017年9月27日 2017年9月30日 2017年12月1日	文部科学省委託研究都市減災サブプロジェクト 東北福祉大学 障害者の減災を実現する仙台イニシアティブ研究会 仙台市障害者福祉協会 四川大学法学院 地球惑星科学連合 江原大学校消防防災学部 日本災害復興学会 避難所・避難生活学会	最終報告会 全国町村会館 仙台防災未来フォーラム2017 セッションテーマ：インクルーシブ防災をめざした地域づくり 仙台国際センター 四川大学法学院研究会 四川大学 2017年度地球惑星科学連合大会 幕張メッセ 日韓災害研究会 国立古宮博物館セミナー室（韓国ソウル市） 2017年度日本災害復興学会大会 兵庫県立大学 第3回避難所・避難生活学会 大手町ファーストスクエアカンファレンス
(招待講演) 地域防災と自助・共助の役割 災害とコミュニティー 災害時に期待されている役割 災害関連法体系基礎 滋賀県地震防災プランワークショップ	単独 単独 単独 単独 共同	2017年1月24日 2017年3月17日 2017年6月17日 2017年6月23日 2017年6月28日	公益社団法人近畿本部(防災支援委員会) 関西大学 大阪府森林組合 関西大学 人と防災未来センター 滋賀県	第10回「災害対策セミナー in 神戸」防災・減災シンポジウム 神戸国際会議場502号室 森林防災を考えるシンポジウム 関西大学高槻ミュージックキャンパス 第25回 高槻ミュージックキャンパス公開講座 関西大学高槻ミュージックキャンパス 災害対策専門研修（自治体職員向け）国際健康開発センター アドバイザー 滋賀県危機管理センター

社会安全学研究 第8号

災害と法	単独	2017年7月28日	地球惑星科学連合	教員免許状更新講習 高槻市生涯学習センター
学校における防災教育・防災管理について	単独	2017年8月4日	関西大学	教職員研修講座 関西大学高槻ミュージックキャンパス
災害と法	単独	2017年8月29日	大阪府立大学工業高等専門学校	大阪府立大学工業高等専門学校
個人情報の保護と活用について	単独	2017年9月4日	大分市滝尾地区防災士協議会	緑風苑地域交流ホール（大分市）
自然災害と被災者支援について	単独	2017年9月5日	大分県社会福祉法人経営者協議会	大分県総合社会福祉会館大ホール
被災者の生活支援制度 被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2017年9月23日	兵庫県	平成29年度 淡路地域ひょうご防災リーダー講座 淡路県民局洲本総合庁舎
被災者の生活支援制度 被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2017年9月24日	兵庫県	平成29年度 西播磨地域ひょうご防災リーダー講座 西播磨県民局総合庁舎
災害関連法体系基礎	単独	2017年10月6日	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	平成29年度 市町防災担当職員を対象とした防災講座 三重大学
被災者支援	単独	2017年10月29日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール（大阪市）
災害救助法	単独	2017年11月11日	鳥根県	災害救助法研修 鳥根県民会館
災害時要配慮者対策と被災者支援	単独	2017年11月12日	和歌山県	平成29年度地域防災リーダー養成講座「紀の国防災人づくり塾」 那智勝浦町体育文化会館
福祉と防災	単独	2017年11月17日	関西大学	2017年度社会安全学部大阪連続セミナー 関西大学梅田キャンパス
被災者支援	単独	2017年11月26日	防災士研修センター	防災士研修講座 笠岡市保健センター
熊本地震における被災者支援	単独	2017年12月1日	関西大学	第8回東京シンポジウム「首都直下地震・南海トラフ巨大地震へ備えよ！ - 熊本地震から得た教訓 -」 関西大学東京センター
被災者の生活支援制度 被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2017年12月2日	兵庫県	平成29年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター
災害時要配慮者対策と被災者支援	単独	2017年12月10日	和歌山県	平成29年度地域防災リーダー養成講座「紀の国防災人づくり塾」 和歌山市役所

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2017~2019年	700 (3,500)	災害後における支援団体への個人情報提供システムの構築
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2016~2018年	400 (11,700)	被災者支援レジーム/復興まちづくりの国際比較研究-ジェンダーの視点から
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2017~2020年	300 (11,900)	アジア災害地域のコミュニティ参加型減災社会制度基盤の比較研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2017~2019年	250 (3,600)	災害復興における多様な連携・協働を推進するシステムの構築に関する研究

以下、フリー記入

- (所属学会)
- 日本公法学会
 - 日本社会保障法学会
 - 日本公共政策学会
 - 日本災害復興学会 (学会誌編集委員会副委員長 法制度委員会委員長)
 - 日本災害情報学会
 - 地域安全学会
 - 日本火災学会
 - 地区防災計画学会 (幹事)

(社会貢献活動)

総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員

研 究 業 績

関西広域連合 我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会 委員

兵庫県 災害時要援護者支援指針改訂に係る検討会 委員

大分県 再生可能エネルギー導入評価委員会 委員

高槻市 行財政改革推進委員会 委員

高槻市 個人情報保護運営審議会 委員

大阪府立大学 評価委員会 委員

RASA(地域原子力防災支援協議会) 理事

NPO法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査

(その他業績として記載を希望する事項)

地域安全学会論文集第32号の論文査読者

関西学院大学災害復興制度研究所 指定研究員として法制度研究会を主催

大分大学福祉健康科学部 「災害時家族避難手帳」に関する有識者会議(2017年2月20日)に委員として出席

2017年度 関西大学高等部 SGH(スーパーグローバルハイスクール) 事業 特別講師

■ 奥村 与志弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 東日本大震災時の南三陸町志津川地区における住民の避難開始行動の時空間分析	共著	2017年	土木学会	土木学会論文集A1 (構造・地震工学), 土肥裕史, 奥村与志弘, 清野純史, Vol.73, No.4 (地震工学論文集第36巻), pp.L742-I752, 査読有.
2011年東北津波によって流出した女川町のRC建物に対する周辺建物群の影響	共著	2017年	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), 奥村与志弘, 坂東直樹, 米山望, 清野純史, Vol.73, No.2, I_913-I_918, 査読有.
2016年台湾高雄美濃地震と台南市の地盤震動特性	共著	2017年	地域安全学会	地域安全学会論文集, 三木拓人, 清野純史, 奥村与志弘, 土肥裕史, 呉建宏, 李徳河, No.31, pp.319-pp.327, 査読有.
ANALYSIS OF THE START OF EVACUATION BY PEOPLE INSIDE A BUILDING DURING THE 2014 IQUIQUE EARTHQUAKE TSUNAMI	共著	2017年	16WCEE Committee	the 16th World Conference on Earthquake Engineering, Yuji Dohi, Yoshihiro Okumura, Maki Koyama, Junji Kiyono, 1923 (60SS), 11p.
南海トラフ巨大地震に対する紀伊半島地域のレジリエンス評価に関する一考察	共著	2017年	地盤工学会	第52回地盤工学研究発表会, 平成29年度発表講演集, 奥村与志弘, 牧紀男, 森内悟, 4p.
微動観測に基づく台南市の地盤振動特性について	共著	2017年	東濃地震科学研究所	東濃地震科学研究所報告, 清野純史, 奥村与志弘, 李徳河, 呉建宏, 土肥裕史, 大道一歩, No.39, pp.83-92.
Spatiotemporal Analysis of Evacuation Initiation Behavior at Tsunami Disaster	共著	2017年	EIT-JSCE	EIT-JSCE Joint International Symposium on International Human Resource Development for Disaster-Resilient Countries, Hiroataka KAMIOSAKO, Yoshihiro OKUMURA, Junji KIYONO, Young Engineer & Graduate student Session, 4pp.
(その他, 論考・研究資料等) 「北風の防災」から「太陽の防災」へ——南あわじ市福良の津波防災まちづくりプロジェクト(平成22年-)——	単著	2017年8月	公益社団法人 日本河川協会	河川, 8月号(特集 津波防災の取り組み), pp.34-38.
THE KUMAMOTO JAPAN EARTHQUAKES OF 14 AND 16 APRIL 2016, A FIELD REPORT BY EEFIT	分担執筆	2017年	EEFIT	Earthquake Engineering Field Investigation Team (EEFIT), 88p.
防災分野以外の知恵不可欠	単著	2017年8月15日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム
知恵や技術を持ち寄ってみんなで高める地域防災力	単著	2017年8月30日	朝日新聞社	『朝日新聞』名古屋本社版朝刊, 広告記事, コラム.
熊本地震の現場から学ぶ	単著	2017年9月11日	朝日新聞社	『朝日新聞』名古屋本社版夕刊, 広告記事, コラム.
「教訓」は自らの判断が重要	単著	2017年11月21日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 津波災害時の住民の避難開始についての時空間分析	共著	2017年5月27日	土木学会	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会, 上大迫弘隆, 奥村与志弘, 清野純史, IV-46, 大阪工業大学 大宮キャンパス(大阪府大阪市).
杭基礎RC建物の津波による転倒に及ぼす周辺建物群の影響	共著	2017年5月27日	土木学会	平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会, 坂東直樹, 奥村与志弘, 米山望, 清野純史, II-34, 大阪工業大学 大宮キャンパス(大阪府大阪市).

研究業績

Evacuation Simulation Method Focusing on Evacuation Start	共著	2017年 8月22日	ITS Bali 2017 Committee	International Tsunami Symposium (ITS2017), Yoshihiro Okumura, Yuji Dohi and Junji Kiyono, ID-013, Bali Indonesia.
A Monitoring Method with Unmanned Aerial Vehicle for Tsunami Evacuation	共著	2017年 8月22日	ITS Bali 2017 Committee	International Tsunami Symposium (ITS2017), Yuji Dohi, Yoshihiro Okumura and Junji Kiyono, ID-013, Bali Indonesia.
津波災害時における住民の避難行動開始の時空間分析	共著	2017年 9月12日	土木学会	平成29年度土木学会全国大会第72回年次学術講演会, 上大迫弘隆, 奥村与志弘, 清野純史, II -196, 九州大学伊都キャンパス (福岡県・福岡市).
杭基礎 RC 建物の津波による転倒に及ぼす周辺建物群の影響	共著	2017年 9月12日	土木学会	平成29年度土木学会全国大会第72回年次学術講演会, 坂東直樹, 奥村与志弘, 清野純史, II -190, 九州大学伊都キャンパス (福岡県・福岡市).
内陸盛土による津波浸水面積低減効果についての試算	共著	2017年 9月27日	自然災害学会	第36回自然災害学会学術講演会, 片山吉史, 水津育男, 奥村与志弘, III -6-3, アオーレ長岡 (新潟県・長岡市).
無人航空機を用いた避難開始行動調査報告—南あわじ市阿万中西地区の津波避難訓練—	共著	2017年 9月27日	自然災害学会	第36回自然災害学会学術講演会, 土肥裕史, 奥村与志弘, 清野純史, I-3-4, アオーレ長岡 (新潟県・長岡市).
Numerical Analysis of Evacuation Start in Elderly Care Facility during the 2011 Tohoku Tsunami	共著	2017年10月10日	30th National Geoscience Conference and Exhibition	Y. Dohi, Y. Okumura and J. Kiyono, 30th National Geoscience Conference and Exhibition, Kuala Lumpur, Maraysia.
有効応力解析を用いた2011年東北地震津波による女川町の地盤応答特製の推定	共著	2017年10月12日	土木学会	第37回地震工学研究発表会, 奥村与志弘, 家根拓矢, 加藤亮輔, 清野純史, D-24-1211, くまもと県民交流館パレア (熊本県・熊本市).
杭基礎建物の被災状況を踏まえた2011年東北地震津波による女川町の地盤応答特性の推定	共著	2017年10月12日	土木学会	第37回地震工学研究発表会, 佐藤祐子, 奥村与志弘, 米山望, 清野純史, D-24-1247, くまもと県民交流館パレア (熊本県・熊本市).
無人航空機を用いた津波避難開始行動調査手法の提案	共著	2017年10月12日	土木学会	第37回地震工学研究発表会, 土肥裕史, 奥村与志弘, 上大迫弘隆, 清野純史, D-23-1237, くまもと県民交流館パレア (熊本県・熊本市).
(講演)				
巨大災害多発時代をどう生き抜くか	単独	2017年 6月 2日	震災対策技術展	第4回震災対策技術展(大阪), グランフロント梅田.
東日本大震災で起きたこと・起きていること	単独	2017年 6月17日	朝日新聞社	子ども新聞プロジェクト事前授業, 朝日新聞名古屋本社.
急がば回れの防災・減災	単独	2017年 6月24日	草津市	第8回草津市減災シンポジウム, 草津市役所.
災害に強く生きる	単独	2017年 7月 4日	田原市教育委員会	防災キャンプ事業・事前授業 WS有, 田原市立若戸小学校.
災害に強く生きる	単独	2017年 7月 4日	田原市教育委員会	防災キャンプ事業・事前授業 WS有, 田原市立泉小学校.
南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について—巨大災害多発時代をどう生き抜く—	単独	2017年 7月29日	兵庫県淡路県民局	平成29年度淡路地域ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県洲本市.
南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について—巨大災害多発時代をどう生き抜く—	単独	2017年 9月24日	兵庫県西播磨県民局	平成29年度西播磨地域ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県赤穂郡上郡町.
「北風の防災」から「太陽の防災」へ	単独	2017年10月21日	京都大学 災害リスクマネジメント工学 (JR西日本) 講座	第14回市民防災講座-災害リスクを考える-地震・津波災害に備える, 神戸市.
熊本地震から何を学び, 首都直下地震・南海トラフ巨大地震に備えるか	共同	2017年12月 1日	関西大学社会安全学部	第8回東京シンポジウム, 総合会社とパネルディスカッションのコーディネーター, 関西大学東京センター.

社会安全学研究 第8号

南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について——巨大災害多発時代をどう生き抜く——	単独	2017年12月2日	兵庫県広域防災センター	ひょうご防災リーダー講座，兵庫県広域防災センター。
「北風の防災」から「太陽の防災」へ——地域活性化と防災・減災の二兎を得る——	単独	2017年12月3日	株式会社ジェイアール東日本ビルディング	東京オトナ大学，東京駅サピアタワー。
津波シミュレーションと地域防災	単独	2017年12月22日	関西大学社会安全学部	2017年度 社会安全学部・連続セミナー第10回，関西大学梅田キャンパス。
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2017～2019年	900 (2400)	内陸型地震と海溝型地震の双方に対応できる社会インフラの頑強・強靱化とその定量評価
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2017～2019年	1050 (2150)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
2017年度 西日本旅客鉄道株式会社 受託研究	代表	2017年	1080	南海トラフ巨大地震に対する社会の強靱化に向けた鉄道事業者の役割
シュエワ株式会社 共同研究	分担	2017～2018年	1000	南海トラフ巨大地震等を想定した灯油巡回サービス事業者の防災・減災事業展開の可能性
首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト	分担	2017～2021年	0	首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ活用に向けた連携体制の構築
以下，フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
日本地震学会				
地域安全学会				
AGU (アメリカ地球物理学連合)				
(社会貢献活動)				
土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文編集小委員会』委員				
土木学会 海岸工学委員会『津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会』委員，WG1 副査				
土木学会 関西支部『平成29年度 学生会員海外研修支援事業』幹事				
地震工学会『第15回日本地震工学シンポジウム運営委員会』委員				
日本自然災害学会『学術委員会』委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
南あわじ市『福良地区円卓会議』座長				
田原市『愛知県田原市防災会議』委員				
田原市 教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー				
人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸 実行委員会』委員				
一般財団法人関西情報センター『平成29年度 草津市地区防災計画等策定支援業務』アドバイザー				
日本赤十字社愛知県支部・朝日新聞愛知県支部『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー				
(メディア)				
2017年11月5日 NHK ラジオ『防災特番『“稲むらの火”を世界に～世界津波の日』』ラジオ第一・全国，NHK ワールド・ラジオ日本，10:05～11:50生放送，スタジオ解説				
2017年11月9日 NHK ラジオ『関西ラジオワイド 防災コラム『世界津波の日』』(17時台約10分)				

研 究 業 績

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称,「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁,査読有の場合はその旨
(学術論文) 懲罰的損害賠償の経済学的根拠——リスク コントロール政策としての位置付けと論点 の整理——	単著	2017年7月	PL研究会	新PL研究 2, P 11-17 (査読有)
(その他,論考・研究資料等) 書評 押尾直志著『保険経済の根本問題』	単著	2017年7月	新日本出版	経済 No.262, P 88-89
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称,場所
(学会発表) エシカルファッションの経済分析	単独	2017年3月11日	日本経済政策学会	日本経済政策学会関西支部大会,於関西 学院大学
航空保険にノーロス・ノープロフィットの 原則は必要か	単独	2017年5月28日	日本経済政策学会	日本経済政策学会全国大会,於亜細亜大 学
原子力保険の成績から見た原子力損害賠償 制度の問題	単独	2017年9月30日	日本公共政策学会	日本公共政策学会関西支部研究大会,於 立命館大学
定額の保険料は常にモラルハザードを引起 すか?——被保険者の資産制約を考慮した 分析——	単独	2017年11月17日	日本保険学会	日本保険学会関西支部報告会,於関西学 院大学
多国籍企業としての保険産業をどのように コントロールすべきか?	単独	2017年12月25日	持続可能性と資源貿 易研究会	①持続可能性と資源貿易研究会,②東京 新世界経済研究会,③立教大学経済研 究所プロジェクト研究(国際・政策部会) の3つの研究会共催の研究報告会,於立 教大学
以下,フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境科学会 法と経済学会 PL研究会 日本私法学会				

■ 河野和宏

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 3Dシミュレータによる情報セキュリティインシデントの疑似体験型教育ツールの開発に向けて	単独	2017年1月25日	電子情報通信学会 情報セキュリティ研究 専門委員会	2017年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS 2017), 8 pages, ロワジュールホテル那覇 (査読なし)
継続認証実現に向けた歩行中の心拍データ系列を用いた個人認証	共同	2017年3月6日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2016-90, P25-30, 宮古島マリンターミナルビル (吉田崇晃, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
インフィード広告における不要素に関する一検討	共同	2017年3月22日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2017年総合大会, A-12-2, P139, 名城大学 (平井裕心, 河野和宏) (査読なし)
リーチサイトが及ぼす著作権侵害の誘発に関する考察	共同	2017年3月22日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2017年総合大会, A-12-3, P140, 名城大学 (山上夏実, 河野和宏) (査読なし)
高齢者の視覚特性に配慮したGISマップの作成	共同	2017年3月22日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2017年総合大会, D-9-11, P101, 名城大学 (菊池伶美, 河野和宏) (査読なし)
聖地の立地状況から考える観光地での移動手段に関する一検討	共同	2017年3月22日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2017年総合大会, D-9-13, P103, 名城大学 (寺嶋奈央, 河野和宏) (査読なし)
仮想世界内でのノンバーバルコミュニケーションに関する一検討	共同	2017年3月23日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2017年総合大会, H-2-9, P227, 名城大学 (成宮良, 河野和宏) (査読なし)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・若手研究 (B)	代表	2015~2017年	800,000 円 (2,300,000 円)	セキュリティ意識向上に向けた習熟度別・年代別学習システムの開発
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (S)	連携研究者	2016~2020年	0 円 (0 円)	メディアクロウン攻撃を防御するコミュニケーション系
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担研究者	2017~2019年	1,050,000 円 (2,150,000 円)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
以下, フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)				
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2016年4月1日~) 東京連続セミナー, 安全・安心に関わる科学技術の最前線「生体認証技術の現在とこれからの展開」(2017年4月27日) はりま産学交流会「情報漏洩の事例分析とセキュリティ教育ツールの開発」(2017年7月30日)				
(その他業績として記載を希望する事項) 関西大学 IT センター副所長 (2016年10月~)				

研究業績

■ 小山倫史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Liquefaction With the Great East Japan Earthquake	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Tomofumi Koyama, pp.147-160.
(学術論文) 無筋コンクリート橋脚の実態と地震時の被災状況についての考察	共著	2017年3月	関西大学社会安全学部	坂岡和寛, 大坪正行, 小山倫史, 社会安全学研究, 2017; 7: 3-23.
平成28年(2016年)熊本地震における熊本城の城郭石垣の被害調査およびその分析	共著	2017年3月	関西大学社会安全学部	小山倫史, 菊本統, 橋本涼太, 桑島流音, 社会安全学研究, 2017; 7: 87-95 (「特集熊本地震調査研究」) (査読なし)
カンボジア・アンコール遺跡の石積構造物基礎の支持力特性に関する一考察	共著	2017年	地盤工学会中国支部	橋本涼太, 小山倫史, 菊本統, 三村衛, 地盤と建設, 2017; 35 (1):137-146
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 平成28年(2016年)熊本地震における石積構造物の被害の調査と分析：熊本城の城郭石垣	共同	2017年1月10～12日	岩の力学連合会	小山倫史, 菊本統, 橋本涼太, 桑島流音, 第14回岩の力学国内シンポジウム, 2017, 神戸, 講演番号042: pp.1-6 (査読有り).
離散体の地震応答解析におけるマニフォールド法(NMM)の適用に関する基礎的研究	共同	2017年1月10～12日	岩の力学連合会	坂岡和寛, 橋本涼太, 小山倫史, 第14回岩の力学国内シンポジウム, 2017, 神戸, 講演番号040: pp.1-6 (査読有り).
Numerical study on bearing capacity characteristics of masonry platform structure for different stone thickness	共同	2017年6月25～28日	ARMA	Hashimoto, R. Koyama, T. and Kikumoto, M., Proc of the 51st US Rock Mechanics/Geomechanics Symposium, San Francisco, USA, paper ID: ARMA17-456, pp. 1-6 (査読有り)
歴史的石積構造物基礎の極限支持力算定法の提案	共同	2017年7月12～14日	地盤工学会	橋本涼太, 菊本統, 小山倫史, 三村衛, 第52回地盤工学研究発表会講演概要集, 名古屋国際会議場, 名古屋市, pp. 107-108
アンコール遺跡風化砂岩とエコチップ	共同	2017年7月12～14日	地盤工学会	福田光治, 岩崎好規, 本郷隆夫, 小山倫史, 桑島流音, 中川武, 石塚充雅, 第52回地盤工学研究発表会講演概要集, 名古屋国際会議場, 名古屋市, pp.93-94.
斜面動態モニタリングに関する現地調査・試験——京都府綾部市安国寺裏斜面を対象として——	共同	2017年7月12～14日	地盤工学会	鏡原聖史, 笹原克夫, 小田和広, 小泉圭吾, 小山倫史, 藤本将光, 片岡沙都紀, 第52回地盤工学研究発表会講演概要集, 名古屋国際会議場, 名古屋市, pp. 1833-1834.
ブレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける地盤調査と石積構造物の変状分析	共同	2017年9月11～13日	土木学会	桑島流音, 小山倫史, 橋本涼太, 岩崎好規, 福田光治, 石塚充雅, 土木学会第72回年次学術講演会講演概要集, 九州大学伊都キャンパス, 福岡市, 2017, pp. 879-880.
自然災害に対するリスク指標(GNS)を用いた大阪府内の市町村間でのリスク検討	共同	2017年9月11～13日	土木学会	向井友亮, 小山倫史, 土木学会第72回年次学術講演会講演概要集, 九州大学伊都キャンパス, 福岡市, 2017, pp. 21-22.
Influence of stacking conditions of stones on bearing capacity characteristics of masonry foundation	共同	2017年9月17～22日	ISSMGE	Hashimoto, R. Koyama, T. and Mimura, M., Proc. of the 19th Int. Conf. on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, COEX convention Centre, Seoul, South Korea, pp. 3221-3224 (査読有り)

社会安全学研究 第8号

京都府綾部市安国寺裏斜面におけるモニタリング計測器配置の検討	共同	2017年11月2日	地盤工学会関西支部	小田和広, 矢野晴彦, 鏡原聖史, 深川良一, 片岡沙都紀, 小泉圭吾, 小山倫史, 笹原克夫, 辻野裕之, 藤本将光, 伊藤真一, 大段恵司. Kansai Geo-Symposium 2017-地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム-論文集, 関西大学100周年記念館, 吹田市, 大阪 (査読有り)
(招待講演) 地層処分と岩盤工学	単独	2017年2月11日	NUMO	地層処分セミナー in 静岡, ニッセイ静岡駅前ビル, 静岡市
土砂災害の発生メカニズムと現場計測・モニタリング	単独	2017年3月17日	大阪府森林組合	森林防災を考えるシンポジウム, 関西大学高槻ミュージアムキャンパス, 高槻市
自然災害の脅威とその対策を学ぶ	単独	2017年6月29日	高槻市	高槻市公民館減災講座, 芥川公民館, 高槻市
熊本地震における熊本城の城郭石垣および石橋の被害調査およびその分析	単独	2017年7月4日	土木学会関西支部	歴史的な地盤遺跡の保全と活用に関する研究委員会(第1回委員会), 土木学会関西支部, 大阪市
熊本城築城と修復の歴史——復興に向けた課題——	単独	2017年8月5日	関西大学教育後援会	熊本市教育懇談会, TKP ガーデンシティネストホテル熊本, 熊本市
DEMの様々な拡張, 岩盤崩壊シミュレーション	単独	2017年9月1日	地盤工学会	地盤に関する解析技術(個別要素法)講習会, 地盤工学会, 東京都
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究補助金 基盤研究(A)	分担	2014~2016年	150 (28,470)	熱・水・応力・化学連成場の岩盤透水・力学特性の解明と連成数値シミュレータの開発
文部科学省科学研究補助金 基盤研究(B)	分担	2016~2018年	500 (17,680)	斜面内の変形と土壌水分の同時モニタリングに基づく斜面崩壊発生予測
文部科学省科学研究補助金 基盤研究(B)	分担	2016~2018年	600 (17,680)	自然災害安全性指標(GNS)構築のための脆弱性評価の確立と防災戦略への反映
国土交通省 平成27年度 河川砂防技術研究開発公募・河川技術分野	共同研究者	2015~2017年	0	パイピングに伴う堤防劣化を考慮した河川堤防評価技術の開発
国土交通省近畿地方整備局 新都市社会技術融合創造研究会	分担	2016~2018年	0 (15,000)	事前道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 資源・素材学会 岩の力学連合会 地下水学会 地すべり学会 計算工学会 地域安全学会				
(社会貢献活動) 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員 土木学会, 土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 幹事長 土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員 土木学会, 地盤安定解析高度化小委員会, WG1:破壊進展を考慮した安定性評価WG, 委員 土木学会関西支部, 歴史的な地盤遺跡の保全と活用に関する研究委員会, 委員 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員				

研 究 業 績

地盤工学会, Soils and Foundations, 幹事委員
地盤工学会関西支部, 斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会, 利活用部会 部長
地盤工学会関西支部, 総務幹事
International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member
International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member
岩の力学連合会, 電子ジャーナル委員会, 委員
岩の力学連合会, RockNet 委員会, 委員長
国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター
国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー
国土交通省近畿地方整備局, 技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会, 委員
大阪府, 都市基盤施設維持管理技術審議会, 委員
大阪府, 河川整備審議会, 専門委員
京都市, 異常気象時通行規制基準改定委員会, 委員長
近畿建設協会, 土木と AI 検討委員会, 副委員長
原子力環境整備促進・資金管理センター, 検討委員会 分野別委員会 (地質環境), 委員
原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員
西日本高速道路株式会社, 新名神高速道路大阪府域 地下水流動対策検討委員会, 委員
(その他業績として記載を希望する事項)
【記事掲載】「地滑り・土石流 斜面監視で避難判断」, 毎日新聞, 5月17日, 朝刊 24面, 知ってなるほど地震・防災
【記事掲載】「土砂災害予測, 精度高める」, 日経産業新聞, 5月22日, 日刊 13面, 「注目の大学人」
【記事掲載】「高密度の植林 根こそぎ流され」, 産経新聞, 7月14日, 朝刊 28面, 九州豪雨の被害状況を分析し寄稿
【記事掲載】「熊本城 復旧には地盤改良も」, 産経新聞, 9月19日, 夕刊 3面 「関大 社会安全学部 リレーコラム」
【記事掲載】「「完璧な」災害情報などない」, 産経新聞, 12月19日, 夕刊 3面 「関大 社会安全学部 リレーコラム」

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Problems and Future of Post 3.11 Disaster Journalism	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth- Heinemann	Faculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Seiji Kondo, pp.235-250.
(その他、論考・研究資料等) 伝承メディアとしての災害漫画——東日本 大震災を対象とした内容分析——	単著	in printing	日本社会学会	第3回東日本大震災研究交流会報告書
アイデア満載 校内放送を活用した防災学 習 (前編)	単著	2017年11月	少年写真新聞社	安全教育ニュース NO.1491号付録
アイデア満載 校内放送を活用した防災学 習 (後編)	単著	2017年12月	少年写真新聞社	安全教育ニュース NO.1492号付録
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 多層な共助を基軸とした地区防災計画の策 定——草津市山田学区モデル——	共同	2017年3月4日	地区防災計画学会	地区防災計画学会第3回大会 於・京都 大学宇治キャンパス (近藤誠司・中野充 博)
計画の浸透度把握手法に関する基礎的考察 ——神戸市真陽地区のアクション・リサー チから——	単独	2017年3月4日	地区防災計画学会	地区防災計画学会第3回大会 於・京都 大学宇治キャンパス
校内防災放送の長期的な教育効果に関する 基礎的考察 ——神戸市長田区真陽小学校 におけるアクション・リサーチから——	単独	2017年9月24日	日本安全教育学会	日本安全教育学会第18回岡山大会 於・ 岡山大学津島キャンパス
熊本地震時における知的障害者家庭の実態 調査～質問紙調査による分析結果から～	単独	2017年9月28日	日本自然災害学会	第36回日本自然災害学会学術講演会 於・アオーレ長岡
“復興支援ソング”のポテンシャルティ ～ 東日本大震災の被災者を励ました歌の研究 ～	単独	2017年10月1日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2017年度神戸大会 於・兵庫県立大学神戸商科キャンパス
災害報道における遺体描写に関する基礎的 考察 ——報道従事者と大学生を対象とし た判断基準の比較分析——	単独	2017年10月21日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第19回学会大会 於・ 京都大学宇治キャンパス
“火の用心”CMのキャンペーン効果に関す る分析 ——京丹波町ケーブルテレビにお けるアクション・リサーチ——	共同	2017年10月21日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第19回学会大会 於・ 京都大学宇治キャンパス (松尾晃大・近 藤誠司・西村公貴・芥田慶祐)
山間集落における防災意識向上策の検討 ——福井県高須町における実践事例から ——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (乾川 敬一郎・近藤誠司・奥野隼人・小山倫史)
非常食をめぐる“情報ミスマッチ”に関する 基礎的考察 ——宮城県亶理町における実 地調査をふまえて——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (志 幸奈・近藤誠司)
地区防災計画策定事業のポテンシャルティ ——滋賀県草津市山田学区における実践事 例から——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (小森 翔太・近藤誠司)
CATVを活用した防災力向上キャンペーン の効果測定 ——京都府京丹波町における 実践事例から——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (白永 葉瑠香・芥田慶祐・前田和輝・長谷川 奈々・近藤誠司)
逆ベクトル型防災学習のポテンシャルティ ——和歌山県広川町における実践事例から ——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (植竹 遥・近藤誠司・石原凌河)
熊本地震時における知的障害者家庭の実態 調査 ——熊本市手をつなぐ育成会との共 同アンケートから——	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院 大学ポートアイランドキャンパス (汐瀬 拓馬・近藤誠司)

研 究 業 績

防災学習の長期的な効果に関する基礎的考察 — 神戸市長田区における実践事例から —	共同	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス (広渡 雅菜・大西景子・奥井柚子・林 亮佑・近藤誠司)
社会貢献における「目標」設定に関する理論的考察 — Efficiency と Contingency の観点から —	単独	2017年12月2日	社会貢献学会	社会貢献学会第8回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
(招待講演)				
Importancia de la Transmisión de Información sobre Desastres por los Medios de Comunicación	単独	2017年1月19日	JICA	Cursos por Tema: Curso “Medidas de Prevención de Desastres para Centroamérica” 於・JICA 関西
防災力と福祉力を向上する ～地域づくりと人づくり～	単独	2017年1月20日	尼崎市塚口連協	塚口西新年合同研修懇親会講演, 於・いかりライクスホール
Sobre la elaboración del Plan de Prevención de Desastres Barrial — Acción de mitigación de desastres de los residentes, por los residentes y para los residentes —	単独	2017年1月24日	JICA	Programa de Capacitación de JICA del AF 2016: Curso de Medidas de Prevención de Desastres para América Central 於・JICA 関西
防災力と福祉力を 向上するために ～地域づくりと人づくり～	単独	2017年2月10日	尼崎市立花振興センター	市民運動立花地区推進協議会防災講演会 於・尼崎市北部防災センター
地域防災と防災学習 ～みんなが学ぶ, みんなで学ぶ～	単独	2017年2月11日	高槻市日吉台コミュニティ	平成28年度第4回自主防災・福祉連絡会 於・しんわ会館
防災・防火の輪を 広げるために ～災害情報と賢く付き合う術～	単独	2017年2月13日	尼崎市消防局	春の火災予防運動 防火講習会 於・尼崎市防災センター
CATVにおける 防災コンテンツの共同制作 ～地域防災力向上プロジェクト～	単独	2017年2月20日	京丹波町	平成28年度「1まち1キャンパス事業」報告会 於・京丹波町議会議場
災害時の情報伝達 ～課題と展望～	単独	2017年2月23日	九州運輸局	危機管理・安全保障研修 (九州ブロック管理職級) 於・九州運輸局
無計画と非計画	単独	2017年2月25日	草津市山田学区まちづくり協議会	山田学区地区防災計画報告会, 山田学区まちづくりセンター
防災情報の活用術 マネジメントを鍛える “リアリティ”の視座	単独	2017年2月27日	国交省	運輸安全マネジメント総合セミナー, 国土交通省
美木多地区自治連合会 防災アンケート集計速報から	単独	2017年3月1日	堺市美木多地区	美木多地区自治連合会防災講演会 於・美木多農協
みんなの防災 ～大学生の取り組み事例から学ぶ～	共同	2017年3月7日	高槻市樫田地区連合自治会, 防災会	高槻市樫田地区防災講演会 於・樫田支所
グループワークの講評 広川町プロジェクトのその後	単独	2017年3月13日	次世代防災研究者連盟	第3回次世代防災研究者連盟合同研究発表会, 於・神戸しあわせの村
つながる, つなげる ～福島, 熊本, そして京丹波～	単独	2017年5月14日	みわのわ	東日本大震災復興支援シンポジウム 於・旧質美小学校
みんなの防災 ～神戸・真陽地区の取り組みから～	単独	2017年5月27日	真陽防災福祉コミュニティ	真陽フェス防災講演会 於・真陽小学校
災害時の情報伝達 ～課題と展望～	単独	2017年6月9日	中部運輸局	危機管理・安全保障研修 (中部ブロック管理職級) 於・愛知県庁
いのち災害情報 ～社会安全学の新機軸～	単独	2017年6月17日	フロムページ夢ナビ編集部	夢ナビライブ2017 Yumenavi LIVE 於・インテックス大阪
命を守るためのメディア活用術 ～みんなが, みんなで～	単独	2017年6月20日	京都新聞社総合研究所	佛教大学・京都新聞提携講座「メディアの可能性」 於・京都新聞社 (講演およびパネルディスカッションも)
地域防災を促進する“知恵”と“工夫”とは	単独	2017年6月24日	草津市危機管理室	第8回草津市減災シンポジウム 於・草津市役所 (パネルディスカッションのコーディネーター)
災害から浮かび上がる現代社会の脆弱性	単独	2017年6月25日	本願寺派総合研究所	シンポジウム 孤独なコミュニティをどう生きるか～つながりの中で感じる孤独の正体～ 於・キャンパスプラザ京都
みんなの防災 ～我が事に, 我々事に～	単独	2017年7月23日	京丹波町質美振興会	質美地区防災講演会 於・質美振興センター
防災教育と安全管理 充実策のコツとツボ	単独	2017年8月4日	関西大学高大連携センター	大阪府・大阪市教職員対象研修講座 於・関西大高槻ミュージックキャンパス

Sobre a Elaboração do Plano de Prevenção Regional de Desastre — Ação de mitigação de desastres dos moradores, pelos moradores, para os moradores —	単独	2017年8月7日	JICA	Gestão Geral da Prevenção de Desastres Curso (A) Brasil Programa de Treinamento do Ano Fiscal de 2017 JICA 於・JICA 関西
みんなのぼうさい ～学校・地域・家庭、そして～	単独	2017年8月26日	防災学習実践研究会	第1回防災学習実践研究会 於・兵庫県立大学
災害情報と防災行動 ～みんなが・みんなで・みんなのために～	単独	2017年10月1日	日本防災士会大阪府支部堺ブロック	まちづくり防災フォーラム2017 於・堺市総合福祉会館
災害情報と防災行動 ～本当に力になる、本当の力にする～	単独	2017年10月3日	京丹波町	平成29年度京丹波町職員研修 於・京丹波町情報センター
みんなのぼうさい ～京丹波町のチャレンジを中心に～	単独	2017年10月4日	京丹波町	平成29年度京丹波町職員研修 於・京丹波町情報センター
課題として共有しておきたいこと	共同	2017年10月15日	福井市高須町自治会	防災報告会 於・高須町集落センター
つながる、つなげる ～災害情報の地域ネットワーク～	共同	2017年10月21日	日本災害情報学会	日本災害情報学第19回学会大会公開シンポジウム 於・京都大学宇治キャンパス(パネルディスカッションのコーディネーターも)
演習：災害情報	単独	2017年10月28日	関西大学・高大連携センター	関西大学社会安全学セミナー、関西大学高槻ミュージックキャンパス
命を守る災害情報 ～巨大災害に立ち向かうために～	単独	2017年10月31日	関西大学・地域連携センター	2017年度 関西大学おおさか文化セミナー 於・関西大学梅田キャンパス
来るべき巨大災害に立ち向かう ～いのちを守る情報力～	単独	2017年11月1日	大阪国際サイエンスクラブ	大阪国際サイエンスクラブ特別懇談会 於・
大規模災害時の広報 ～情報の共有手法～	単独	2017年11月9日	国土交通大学校	平成29年度 専門課程 TEC-FORCE (隊長候補) 研修 於・国土交通大学校
自分らしい防災、はじめてみませんか	単独	2017年11月26日	尼崎難病患者団体連絡協議会	第18回尼崎難病団体連絡協議会・講演交流会 於・尼崎市中小企業センター
Role of Mass Media on Disaster Risk Reduction	単独	2017年11月27日	河北新報社・東北大学	世界防災フォーラム(分科会) Roles of the media in disaster risk reduction ～Cultivation through the media in normal times 於・仙台国際センター会議棟
みんなの防災 我が事にする、我々事にする	単独	2017年11月28日	大阪府教育庁	平成29年度学校安全教室推進事業防災教室 於・大阪国際交流センター
みんなの防災 ～本当に力にするために～	単独	2017年12月4日	兵庫県淡路県民局	平成29年度防災講演会 於・洲本市文化体育館 文化ホール
災害時の情報伝達 ～課題と展望～	単独	2017年12月8日	中国運輸局	危機管理・安全保障研修(中国ブロック管理職級) 於・中国運輸局
ひとまずの通過点、大事な通過点	単独	2017年12月9日	日吉台コミュニティ	平成29年度第3回自主防災・福祉連絡会 於・しんわ会館
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)・17K00471	代表	2017～2018年度	910千円	地域防災活動を推進するローカルメディアの創発
京都府「1まち1キャンパス事業」	代表	2017年度	450千円	CATVにおける防災コンテンツの共同制作による地域防災力向上支援プロジェクト
日本自然災害学会 緊急災害調査補助	代表	2017年度	200千円	発達障害者の情報支援体制に関する実態調査
高橋信三記念放送文化振興基金	代表	2017年度	750千円	災害報道における遺体画像の取扱いに関する実態調査
科学技術振興機構 SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「レジリエントな防災・減災機能の強化」	協力者	2014～2018年度	0千円	津波避難訓練および支援ツールの開発研究
京都大学防災研究所共同研究(平成29年度一般研究集会) 災害メモリアルアクション KOBÉ	協力者	2017年度	100千円	「ぼうさいマイCREDO」プロジェクト

研 究 業 績

京都大学防災研究所共同研究（平成29年度一般研究集会）	代表	2017年度	479千円	新しい災害報道スタイルに関するマスコミ関係者と災害研究者による共同シンポジウム
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会（編集委員）				
日本災害復興学会（編集委員）				
地区防災計画学会（幹事）				
日本安全教育学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本質的心理学会				
社会貢献学会（理事）				
(社会貢献活動)				
兵庫県「災害メモリアルアクション」企画委員				
兵庫県「ひょうご安全の日推進事業 計画等策定支援専門家」				
神戸市「子育て世代」防災啓発プロジェクト検討会委員				
京都大学防災研究所・地震予知研究センター運営協議会委員				
堺市「堺市の避難勧告等に関する意見聴取会」委員				
(報道)				
2017.1.7. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「サバイバル・クッキング リベンジ編」				
2017.1.8. 読売新聞「教訓継承に若い感性」				
2017.1.8. 毎日新聞「教訓 ことばでどう伝える」				
2017.1.14. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「こども目線でおとなも学ぼう 第2弾」				
2017.1.15. NHK（関西ローカル）N6「神戸で防災劇」				
2017.1.17. 公明新聞「災害メモリアルアクション 教訓 次の世代に」				
2017.1.21. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「阪神・淡路大震災22年 防災と減災」				
2017.1.25. 毎日新聞「被災地 継続的に調査 関西大学社会安全学部・近藤研究室」				
2017.1.28. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「ひさいめし 熊本地震が伝えること」				
2017.1月 京丹波ケーブルテレビ（安心ほっとライフ）「消火器の取扱いかた」				
2017.2.4. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「笑顔の向こうに」				
2017.2.11. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「クロスロードで学ぶ」				
2017.2.18. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「男のサバイバルクッキング」				
2017.2.25. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「防災アプリで広域避難！」				
2017.2.25. NHK（関西ローカル）昼のニュース「地区防災計画」草津で報告会				
2017.2.26. 中日新聞「高齢のまち 自主防災計画 草津山田学区 避難所運営など」				
2017.3.4. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「桜島噴火災害に学ぶ」				
2017.3.10. BBCびわこ放送（くらしセーフティネット）「山田学区地区防災計画」				
2017.3.11. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「想定にとわれないとは？」				
2017.3.18. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「地区防災計画ってどんなもの」				
2017.3.25. OBC ラジオ大阪（ちょこっとほうさい）「ちょこほうベスト3の発表」				
2017.5.2. 朝日新聞「紙のダルマ 復興応援 関大生 京丹波から福島へ」				
2017.5.10. 京都新聞「双葉町ゆかり だるまで応援」				
2017.5.15. 両丹日日新聞「被災地支援のありかた考える 東日本大震災復興でシンポ」				
2017.5.15. 京都新聞「被災地とつながろう 各自、何ができるか考えて」				
2017.5.21. 京都新聞「京丹波ケーブルテレビと関西大生製作 参加型CM 火の用心に効果」				
2017.5.31. 読売新聞「だるま1000個に笑顔の絆 関大生とCATV企画」				
2017.6.2. えふえむ草津（Happy BOUSAI）「近藤ゼミの紹介とHappy BOUSAIのねらい」				
2017.6.7. 読売新聞「防災情報 若者感覚で発信 えふえむ草津14日から」				
2017.6.14. えふえむ草津（Happy BOUSAI）「防災アプリを紹介します」				
2017.6.21. 京都新聞「メディア活用し減災を 関西大・近藤准教授が講演」				
2017.6.21. OBC ラジオ大阪「知っておきましょう！ 避難準備にかかわる情報」				

- 2017.6.28. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「復興支援ソングを聴きましょう」
- 2017.6月 京丹波ケーブルテレビ (安心ほっとライフ) 「住宅用火災警報器について」
- 2017.6月 京丹波ケーブルテレビ (安心ほっとライフ) 「熱中症の予防法と対処法」
- 2017.7.12. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「草津市減災シンポジウムのふりかえり」
- 2017.7.12. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「熱中症対策」
- 2017.7.29. OBC ラジオ大阪 「だるま1000プロジェクト」
- 2017.8.9. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「災害漫画を紹介します」
- 2017.8.23. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「復興支援ソング 第2弾」
- 2017.8.26. OBC ラジオ大阪 「サバイバル・クッキング 熱中症編」
- 2017.9.1. 広報さつ 「災害時の行動計画をみんなで作っていきましょう!」, pp.2-3.
- 2017.9.1. NHK ラジオ 防災の日特番 「クロスロード・ゲーム 巨大災害を生き延びろ!」
- 2017.9.13. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「防災の日 ロトスのメッセージから」
- 2017.9.23. 週刊現代 (No.2910) 「大災害と人間心理」
- 2017.9.27. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「災害情報の基礎知識」
- 2017.9.30. OBC ラジオ大阪 「熊本地震調査の中間報告」
- 2017.9月号 蜚雪時代 「関西大学の研究力! 命を守る, 救う, 支えるために… 今求められる災害情報論の現場」
- 2017.9月 京丹波ケーブルテレビ (安心ほっとライフ) 「家具の固定法について」
- 2017.9月 京丹波ケーブルテレビ (安心ほっとライフ) 「火の用心スペシャル」
- 2017.10.11. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「竜巻災害の基礎知識」
- 2017.10.14. 読売新聞 「障害者 災害生き抜くには 関大チームがバンプ」
- 2017.10.25. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「挑戦! サバイバルLINE」
- 2017.10.28. OBC ラジオ大阪 「吹田 CREDO プロジェクト」
- 2017.11.8. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「山田学区実働訓練の報告」
- 2017.11.9. 熊本日日新聞 「地震の教訓 知的障害者向けに」
- 2017.11.22. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「災害絵本の紹介」
- 2017.11.25. OBC ラジオ大阪 「災害絵本の紹介」
- 2017.11.28. 河北新報社 「平時からの啓発報道を メディアの役割議論」
- 2017.11.30. KBS 京都 (News フェイス・ふる里フェイス26) 「京丹波と福島・双葉町をつなぐ“だるま”の絆」
- 2017.11月 京丹波ケーブルテレビ (安心ほっとライフ) 「不審火対策」
- 2017.12.7. 毎日新聞 「関大・近藤研究室 2年連続 優秀賞 校内放送やCATV活用」
- 2017.12.13. 河北新報社 「メディアの役割 当事者意識からの啓発重要」
- 2017.12.13. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「まちづくりコンテストの報告」
- 2017.12.13. ケーブルネットワーク淡路 「さんさんニュース」 Vol.1583 平成29年度防災講演会
- 2017.12.13. NHK ラジオ (関西ラジオワイド・各局リポート) 「防災意識を高めるには」
- 2017.12.14. NHK ラジオ (関西ラジオワイド・防災コラム) 「ほうさい甲子園・2年連続で優秀賞」
- 2017.12.18. NHK ラジオ (NHK ラジオジャーナル) 「ローカルメディアを活用して防災意識を向上」
- 2017.12.26. OBC ラジオ大阪 「だるま1000プロジェクト 仮設住宅訪問の報告」
- 2017.12.27. えふえむ草津 (Happy BOUSAI) 「神戸市で取り組んでいる校内防災放送の紹介」

(その他業績として記載を希望する事項)

平成28年度 「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」 大学部門・優秀賞受賞

第二回中部まちづくりパートナーシップ大賞 奨励賞 「みんなでつくる! 自慢の地区防災計画策定事業」

関西大学地域連携センター <地域で活動する若い力>奨励賞 最優秀賞 校内防災放送プロジェクト~SKH 真陽こども放送局~

関西大学地域連携センター <地域で活動する若い力>奨励賞 優秀賞 京丹波ケーブルテレビ・防災普及啓発プロジェクト

関西大学地域連携センター <地域で活動する若い力>奨励賞 優秀賞 滋賀県草津市における地域防災力向上プロジェクト

京都大学防災研究所巨大災害研究センター 非常勤講師

神戸学院大学現代社会学部・学際教育機構 非常勤講師

KOBE 虹会 (主宰), 関西なまずの会 (副代表), 次世代防災研究者連盟 (世話役代表)

研究業績

■ 城下 英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Disaster education based on legitimate peripheral participation theory: A new model of disaster science communication	共著	2017年6月	Japan Society for Natural Disaster Science	Takuya Iwahori, Katsuya Yamori, Takumi Miyamoto, Hideyuki Shiroshita, Yoshihisa Iio, Journal of Natural Disaster Science, 38 (1), pp.1-15 (査読あり)
Assessment of households' responses to the tsunami threat: A comparative study of Japan and New Zealand	共著	2017年10月	Elsevier	Hung-Lung Wei, Hao-Che Wu, Michael K. Lindell, Carla S. Prater, Hideyuki Shiroshita, David M. Johnston, Julia S. Becker, International Journal of Disaster Risk Reduction, Vol 25, pp.274-282 doi:10.1016/j.ijdrr.2017.09.011 (査読あり)
(その他、論考・研究資料等) 第3の時代の防災教育に向けて	単著	2017年3月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, 第7号, pp.97-105.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表(自発表のみ)) How do disaster museums communicate with the visitors?	共同	2017年8月4日	IAG-IASPEI	Joint Scientific Assembly of the International Association of Geodesy and International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior 2017, Kobe International Convention Center, Japan
A workshop for digging out the embedded customs for DRR	共同	2017年8月25日	IDRiM	8th Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management, Harpa Conference and Concert Centre, Iceland
教える／教えられる関係を変革するための防災教育	単独	2017年9月28日	日本自然災害学会	第36回日本自然災害学会学術講演会, アオーレ長岡
来館者アンケートに見る防災ミュージアムにおける学び合い	共同	2017年10月22日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第19回学会大会, 京大宇治キャンパス
新たな防災教育観の提案：医療と医学におけるコミュニケーションに着目して	単独	2017年11月26日	科学技術社会論学会	科学技術社会論学会第16回年次研究大会, 九州大学馬出キャンパス
(研究会等(自発表のみ)) How can we recognise a black swan as a special bird?	単独	2017年6月23日	IRDR, UCL	UCL IRDR Seminar 2017- Disaster in Japan 2011: The Latest Research, UCL, UK
災害と事故：安全はいかに実現できるか	単独	2017年9月30日	福島チェルノブイリ研究会	福島チェルノブイリ研究会, 東京大学
(招待講演(講演会・研修等)) 泉大津市立学校での防災学習——クロスロードを中心として——		2017年6月14日		泉大津市防災教員研修会, 泉大津市教育センター
生活の中の防災の発見～その方法と実際～		2017年7月16日		第11回あぶやま・まんてん地球小屋, 京都大学阿武山観測所
Open disaster risk reduction: An evacuation drill organised by elementary school pupils		2017年9月19日		Innovative Forum of Soil and Water Conservation, CHANG YUNG-FA FOUNDATION International Convention Center, Taiwan
防災の学びとは何か？		2017年10月25日		平成29年度京都府消防団長OB会研修会, ANA クラウンプラザホテル京都
生活の中で防災を！		2017年11月3日		西大冠校区地区防災会防災講演会, 高槻市立西大冠小学校
防災リーダーの役割——誰もが主役になるための防災教育——		2017年12月9日		平成29年度高槻市防災指導員講習, 高槻市役所

社会安全学研究 第7号

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (A)	分担	2014～2018年度	1200千円 (予定)	新しい津波避難支援ツールの開発に関するアクションリサーチ——巨大想定に挑む——
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (A)	分担	2015～2017年度	800千円 (予定)	被災者参画による原子力災害研究と市民復興モデルの構築：チェルノブイリから福島へ
文部科学省科学研究費補助金・若手研究 (B)	代表	2016～2018年度	2300千円	防災の意味を協働構築するための学習プログラムの開発研究
地域社会と原子力に関する社会科学的研究支援事業	代表	2017年度	1080千円	原子力防災に市民は主体的に関与できるのか？——防災学から原子力防災を考える——
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会				
日本安全教育学会				
日本災害情報学会				
地域安全学会				
日本地震工学会				
大学教育学会				
科学技術社会論学会				
(社会貢献活動)				
大阪府 防災教育推進委員会 委員長				
泉大津市 防災アドバイザー				
京都府 安全教育の手引き改訂検討委員会 委員				
新大阪駅及び駅周辺における帰宅困難者対策検討業務委託事業業務委託先審査委員会 委員				
大阪市立阿倍野防災センター整備設計業務業務委託選定委員会 委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
京都大学防災研究所 非常勤講師				
大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員				
一般社団法人 地域原子力防災支援協議会 理事				
平成29年度大阪市東淀川区BCP運営会議講師 第1回(2017年8月10日, 東淀川区役所), 第2回(2017年12月18日, 東淀川区役所)				
和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師 第1回(2017年9月5日, 印南町役場)				
阿武山観測所サポーター養成講座2017「防災・減災学, 今どきの最新基礎知識」(2017年9月9日, 京都大学阿武山観測所)				
一緒に考えましょう講座「防災学からみた原発事故」(2017年7月29日, 北海道大学)				
いわて高等教育コンソーシアム2017年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育」(2017年12月2日, 岩手県立大学アイーナキャンパス)				
一緒に考えましょう講座総集編「防災における選択の重要性」(2017年12月3日, 北海道大学)				

研究業績

■ 営 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Problems With “Disaster Relief Volunteers”	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	Fuculty of Societal Safety Sciences, THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER, Mashiho Suga, pp.195-216.
(その他、論考・研究資料等) 若者による災害初期における遠隔地支援に関する一考察——2016年熊本地震におけるSNSを活用した情報支援事例より	共著	2017年3月	関西大学 社会安全学部	『社会安全学研究』(第7号) 武田彩ほか11名, pp.107-118. (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害復興期におけるコミュニティと支援(課題報告「大震災被災地における地域社会の再編」総括コメント)	単独	2017年7月16日	東北社会学会	第64回東北社会学会, 於: 東北学院大学
自発性に基づく災害支援の可能性と課題——阪神・淡路大震災から熊本地震まで	単独	2017年7月16日	失敗学会	第14回失敗学会, 於: 関西大学社会安全学部
(招待講演) 「火の国会議」議事録を通じて見える熊本地震の対応(テーマ: 自治体とエイドワーカーが連携する秘訣)	単独 (連携報告の一部)	2017年3月27日	朝日新聞社	九州・熊本震災復興支援フォーラム「震災から1年, 今, 私たちにできること」 於: 有楽町朝日ホール
多様な支援者がつながるために——医療, 福祉, 法律, 技術系ボランティア等(分科会6: 企画・総括コメント)	共同	2017年5月26日	全国災害ボランティア団体支援ネットワーク(JVOAD)	災害時の連携を考える全国フォーラム, 於: 国際ファッションセンター(墨田区)
次世代に災害教訓を継承する(公開シンポジウム)	共同	2017年10月1日	日本災害復興学会	日本災害復興学会神戸大会, 於: 兵庫県立大学
災害と被災者支援	単独	2017年10月27日	関西大学 社会安全学部	2017度関西大学社会安全学部・大阪連続セミナー「地域コミュニティと社会安全学」, 於: 関西大学梅田キャンパス
地域における連携を進め, 災害支援の裾野を広げる(NPO・ボランティアセッション)	共同	2017年11月26日	内閣府	防災推進国民大会2017, 於: 仙台国際センター
支援と受援の社会学——災害多発時代を乗り越えるために(基調講演)	単独	2017年12月16日	東北学院大学	2017年度大学間連携ボランティアシンポジウム, 於: 東北学院大学
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費(期間全体の額)(単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費(基盤研究C)	研究代表者	2015~2017年度	600,000円 (2,204,000円)	災害過程における市民活動の役割に関する社会学的研究
文部科学省科学研究費(基盤研究B)	研究分担者	2014~2017年度	40,000円 (2,600,000円)	「空間なきコミュニティ」における避難者の生活構造の再編に関する社会学的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会 地域社会学会 日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本自然災害学会				
(社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(平成16年度~現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(平成24年3月~現在に至る) 内閣府「広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会」委員(平成27年12月~現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(平成27年12月~現在に至る)				

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム「共に生きるファンド事業評価2016」評価委員（平成28年7月～平成29年3月）
全国社会福祉協議会「都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会」委員（平成28年9月～現在に至る）
消防庁「自主防災組織等の充実強化方策に関する検討会」委員（平成28年9月～平成29年3月）
奈良県地域防災計画検討委員会 委員（平成28年12月～現在に至る）
東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）「JCN5カ年検証事業」評価協力者（平成29年4月～現在に至る）
公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会「災害時における要援護者への継続支援体制検討委員会」委員
（平成29年8月～現在に至る）

研 究 業 績

■ 永 田 尚 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 消防の共助体制における組織間関係について の研究	単著	2017年1月	武蔵野大学法学会	武蔵野法学(5・6), P449-474
(その他、論考・研究資料等) 学生の消防団への加入促進の取り組みにつ いての一考察	単著	2017年2月	全国行政相談協議会	季刊行政相談No.152, P44-50
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) 日本の災害応急対応における行政組織間の 垂直補完と水平補完	単独	2017年5月15日	四川大学法学院	災害シンポジウム、於四川大学法学院
わが国共助体制の現状と課題	単独	2017年6月2日	「震災対策技術展」 事務局	第4回「震災対策技術展」大阪、於グラ ンフロント大阪
(招聘講演) わが国の消防行政の現状と課題	単独	2017年7月7日	北海道消防職員協議 会	北海道消防職員協議会研修会、於北海道 自治労会館
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会(理事) 日本公共政策学会(企画委員) 日本オンブズマン学会(理事) 日本地域政策学会(理事) 関西公共政策学会(運営委員) 日本政治学会				
(その他業績として記載を希望する事項) 一般社団法人地域原子力防災支援協議会 理事長 2013年12月～現在				

■ 元 吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 環境と社会の研究	分担執筆	2017年8月	北大路書房	大坊郁夫(編) シリーズ心理学と仕事10 社会心理学 北大路書房 pp114-118.
環境と災害の心理学	分担執筆	2017年8月	北大路書房	大坊郁夫(編) シリーズ心理学と仕事10 社会心理学 北大路書房 pp118-123.
(学術論文) 小学生向け防災教育デジタル教材の開発 — 主体的な行動力の育成を目的として —	共著	2017年3月	関西大学社会安全学部	社会安全研究, 7, 49-59.(豊沢純子・元吉忠寛・竹橋洋毅・野田理世・宮本真希子・土本純平・井上洋・眞田巧・藤田大輔) (査読なし)
地震のリスクに対する小学生の認知の特徴 — 小学5年生と大学生の比較から —	共著	2017年3月	大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター	学校危機とメンタルケア, 9, 38-45.(豊沢純子・元吉忠寛・竹橋洋毅・野田理世) (査読なし)
(その他、論考・研究資料等) 新潟県における福島県外長期避難者の支援に関する調査報告書	単著	2017年10月	新潟県精神保健福祉協会	新潟県における福島県外長期避難者の支援に関する調査報告書, pp1-34.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害自己効力感尺度の開発	単独	2017年9月20日	日本心理学会	日本心理学会第81回大会, 久留米シティプラザ
危険予測と対処行動を学ぶ防災教育の効果 -小学校低学年にデジタル教材を活用した授業実践-	共同	2017年10月8日	日本教育心理学会	日本教育心理学会第59回総会, 名古屋国際会議場
避難情報の提示におけるリスク認知と自己スキーマの影響 — 避難行動要支援者との同居家族を対象として —	単独	2017年10月28日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第58回大会, 広島大学
(招待講演) リスク認知と防災行動の曖昧な関係	単独	2017年3月17日	滋賀大学経済学部	2016年度滋賀大学経済学部リスク研究センター社会心理学セミナー 滋賀大学
防災対策が後回しになってしまう理由を災害心理学から考える	単独	2017年6月2日	震災対策技術展	第4回「震災対策技術展」大阪 グランフロント大阪
人はなぜ災害に備えられないのか	単独	2017年7月6日	名古屋市消防局	第29回防火管理者協議会講演会 伏見ライフプラザ
福島第一原発事故による長期避難者のこころの健康とその支援	単独	2017年9月21日	日本心理学会	日本心理学会第81回大会「災害復興と心理学」シンポジウム 久留米シティプラザ
災害自己効力感の提案	単独	2017年10月29日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第58回大会ワークショップ「防災意識とは何か：社会心理学と地域防災の視点から」 広島大学
災害時のリスクと人の心理	単独	2017年11月20日	兵庫県三田市議会	平成29年度三田市議員研修会 兵庫県三田市役所
コミュニティ防災への心理学的アプローチ	単独	2017年12月1日	関西大学社会安全学部	2017年度関西大学社会安全学部大阪連続セミナー「地域コミュニティと社会安全学」 関西大学梅田キャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)	代表	2014～2017年度	910千円 (3,770千円)	防災行動における制御焦点と感情の役割の解明
日本心理学会・第1回災害からの復興のための実践活動及び研究助成	代表	2016～2017年度	700千円 (700千円)	長期避難者を支援する支援者の活動実態の把握とサポートマニュアルの開発

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本心理学会 日本教育心理学会（優秀論文賞選考委員） 日本グループ・ダイナミクス学会 日本社会心理学会（編集委員） 日本リスク研究学会 Society for Risk Analysis American Psychological Association
(その他業績として記載を希望する事項) 「広域避難者支援マニュアルより丁寧な支援活動を目指して-」の作成（2017年8月） 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆・単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨
【論文（査読有り）】					
<博士2年> 久保 稔	福島県における東日本大震災に伴う関連死に関する検討	共著	2017年12月	日本原子力学会	日本原子力学会誌: Vol.59(12), 49-53 (土田昭司・静間健人と共著) (査読有)
静間 健人	福島県における東日本大震災に伴う関連死に関する検討	共著	2017年12月	日本原子力学会	日本原子力学会誌: Vol.59(12), 49-53 (久保稔・土田昭司と共著) (査読有)
山本 阿子	津波堆積物形成における粒径と外力の影響に関する水理実験	共著	2017年10月17日	土木学会	山本阿子, 高橋智幸, 原田賢治, 櫻庭雅明, 野島和也, 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I_367-I_372, 査読有
<博士1年> 大森 勉	リスクマネジメントにおける意思決定とリスク情報	共著	2017年5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第48号, 大森勉・亀井克之, pp.119-138 (査読あり)
<修士2年> 大野 哲平	破堤箇所の不確かさを考慮した多数洪水シナリオによる浸水リスク評価手法の開発	共著	2017年12月13日	日本自然災害学会	大野哲平, 高橋智幸, 自然災害科学, Vol.36, No.3, pp.321-332, 査読有
【その他、論考・研究資料等】					
<博士2年> 石井 至	熊本地震と訪日外国人旅行者への対応	共著	2017年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究 第7号, 亀井克之・石井至, pp.63-68.
【学会発表】					
<博士3年> 小園 裕司	DSM データを用いた建物倒壊と災害がれきを考慮した津波数値解析	共同	2017年3月6日	日本船舶海洋工学会, 日本海洋工学会	小園裕司, 高橋智幸, 桜庭雅明, 野島和也, OES26-026, 第26回海洋工学シンポジウム, 東京
<博士2年> 石井 至	観光のリスクマネジメントにおけるリスクの意義	共同	2017年6月3日	日本情報経営学会	第74回全国大会 東京理科大学(神楽坂キャンパス富士見校舎) 日本リスクマネジメント学会共催セッション「現代社会におけるリスクマネジメントの展開」石井至・亀井克之
久保 稔	東日本大震災時の関連死増加に関する考察: 福島県で何故関連死が減らないのか?	共同	2017年3月27日	日本原子力学会	日本原子力学会 2017年春の年会(東海大学[神奈川県平塚市]) (土田昭司と共同)
静間 健人 (ポスター発表)	被透視感が援助要請意図に及ぼす影響	共同	2017年8月27日	日本応用心理学会	日本応用心理学会 第84回大会(立正大学[東京都品川区]) (土田昭司と共同)
山本 阿子	Basic hydraulic experiment on tsunami sand deposits related with sand grain size and bore wave	共同	2017年5月23日	日本地球惑星科学連合, American Geophysical Union	Ako Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, MIS09-073, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, 千葉市
山本 阿子	津波堆積物形成に関する土砂移動モデルの検証～移動床水理実験による単一粒径砂と混合砂の再現～	共同	2017年12月8日	東北大学	山本阿子, 高橋智幸, 原田賢治, 櫻庭雅明, 野島和也, 第7回巨大津波災害二関する合同研究集会, 仙台市
山本 阿子	Hydraulic experiment on formation mechanism of tsunami deposit and verification of sediment transport model for tsunamis	共同	2017年12月11日	American Geophysical Union	Ako Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, AGU Fall Meeting 2017, NH13B-03, New Orleans, USA
<博士1年> 大森 勉	リスクマネジメントにおける意思決定とリスク情報	共同	2017年6月3日	日本情報経営学会	第74回全国大会 東京理科大学(神楽坂キャンパス富士見校舎) 日本リスクマネジメント学会共催セッション「現代社会におけるリスクマネジメントの展開」大森勉・亀井克之

研究業績書（大学院生）

<修士2年> 大野 哲平	Development of method for evaluating estimated inundation area by using river flood analysis based on multiple flood scenarios	共同	2017年12月 14日	American Geophysical Union	Teppei Ono and Tomoyuki Takahashi, AGU Fall Meeting 2017, NH43B-02, New Orleans, USA
<修士1年> 今泉 賢吾	2つの地震リスク情報と不動産市場	共同	2017年 10月21日	日本災害情報学会	京都大学宇治キャンパス, 宇治
今泉 賢吾	Probabilistic or Deterministic: which risk does market reflect on land prices?	共同	2017年 10月21日	International Disaster Risk Conference	Sendai International Center, Sendai
富 思斉	防災教育の拡張の必要性:「医療」と「医学」のコミュニケーションから	共同	2017年 10月21日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第19回学会大会, 京都大学宇治キャンパス
【以下、フリー記入】					
【所属学会】					
<博士2年> 石井 至 久保 稔	日本リスクマネジメント学会 日本原子力学会 日本リスク研究学会				
静間 健人	日本社会心理学会 日本応用心理学会				
<博士1年> 大森 勉	日本リスクマネジメント学会 企業価値向上 ERM 学会				
【社会貢献活動】					
<博士2年> 久保 稔	(公財)つくば科学万博記念財団 専務理事 (特定非営利活動)リスクセンス研究会 理事 放射性物質等の国際輸送規則検討会 主査 (委託先: 原子力規制委員会, 受託: 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所, 海上技術安全研究所)				